Kodak

ピクチャセーバスキャンシステム PS50 シリーズ

ユーザーズガイド

A-61760_ja
5K3731

本製品には Pegasus Imaging Corp., Tampa, FL, (www.pegasustools.com) が所有し著作権を有するイメージ処理コードの一部が使用されています。ALL RIGHTS RESERVED.

安全性について

ユーザーへの注意事項

- スキャナーは 5.5 kg の荷重に耐えられる安定した、水平な場所に設置してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーと電源装置は室内の乾燥した場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- スキャナーに付属していた電源コードのみを使用してください。その他の電源コードを使用すると、感電または製品が破損する危険があります。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを傷つける、結ぶ、切る、改造などはしないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続してください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- スキャナーに付属している AC アダプタを使用してください。スキャナーの AC アダプタを別の製品で使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を中止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外し、Kodak Alaris Inc. の連絡先。
- スキャナーや AC 電源アダプタを分解または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルを接続したままでスキャナーを移動しないでください。電源コードとインターフェースケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に電源コードをコンセントから抜いてください。
- が推奨する清掃手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品向けの製品安全データシート(MSDS)は、Kodak Alaris のウェブサイト www.kodakalaris.com/go/msds でご利用できます。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。

環境に関する情報

- *コダック*PS50 スキャナーは、世界的規模の環境要件を満たすように設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。
- リサイクルや再利用については、地域の自治体にお問い合わせください。米国の場合は、www.kodakalaris.com/go/scannerrecycling. を参照してください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- 部品は再利用、リサイクルを行うように設計されています。

ヨーロッパ連合

このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集／回収プログラムの詳細については、最寄りの代理店にお問い合わせください。または、www.kodakalaris.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則 ((EC) No. 1907/2006) 第 59(1) 条の対象リストに含まれる物質については、www.kodakalaris.com/go/REACH を参照してください。

騒音

Maschinenlarminformationsverordnung - 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance - 3, GSGV
操作者位置の騒音は 70 dB(A) 以下。]

EMC 声明

米国：この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、個人の住宅に取り付けた場合に、有害な干渉から適切に保護することをその目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置条件で、干渉が起こらないという保証はありません。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（これは装置をオン／オフすることで判定できます）、次の 1 つ以上の方法で障害を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 装置と受信機との距離を広げる。
- 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ／テレビ関係の技術者に問い合わせる。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント／アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

はじめに 1-1

インストール 2-1

画面の説明 3-1

写真のスキャン 4-1

メンテナンス 5-1

画質の向上 6-1

トラブルシューティング 7-1

付録 A - C

1 はじめに

目次

参考資料 1-2
アクセサリ 1-2
同梱品一覧 1-3
スキャナーのコンポーネント 1-4

コダック ピクチャセーバ スキャンシステム PS50 をご購入いただきましてありがとうございます。

コダック ピクチャセーバ スキャンシステムは写真を簡単にデジタル化し修正でき、また、オフィスで使用するドキュメントスキャナーとしても使用できます。*コダック* ピクチャセーバ システムのソフトウェアと*コダック* ピクチャセーバ システムのスキャナーを併せて使用すると、写真のスキャン、赤目除去、画像のレタッチや回転、画像のシャープニングなどを必要に応じて行えます。スキャンした写真はさまざまな用途に使用できます。たとえば、印刷、E メールによる送信、CD/DVD/*コダック* ピクチャ CD への書き込み、USB やネットワークドライブへのコピーが可能です。写真管理システム（日本では導入未定）に画像をアップロードして共有したり、カレンダーやフォトブック、スライドショーの創作にも使用できます。また、システムに同梱のスマートタッチソフトウェアは、*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムでの一般的なドキュメントスキャンをサポートします。

注：*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステム PS50 は、過去の注文へのアクセスを制御できない公共環境での使用には適していません。

この『ユーザーズガイド』では、1 バッチに付き混合サイズの写真最大 20 枚を積載する PS50 スキャナーの使用および保守手順について説明します。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、以下の資料を参照してください。

- **インストールガイド** - スキャナーの設置を手順ごとに説明します。
- **リファレンスガイド** - スキャナーを清掃手順を図解で示します。このガイドはスキャナーの側に置き、いつでも参照できるようにしてください。

熟練ユーザー用に以下のガイドがあります。

- **スマートタッチユーザーズガイド** - スマートタッチ機能の使用法を説明します。このガイドは、システムトレイのスキャナーアイコンを右クリックし、**[ヘルプ]** を選択して参照することもできます。

アクセサリ

- ***コダック*フォトセレクタアクセサリ／*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステム PS50/PS55/PS80 用** - ページから写真をはがしたりページプロテクタを外さなくても、フォトアルバムやスクラップブックからスキャンできます。*コダック*リーガルフラットベッドアクセサリまたは*コダック* A3 フラットベッドアクセサリを使用すると、元のフラットベッドでスキャンした画像から個別に画像が識別、選択されます。カタログ番号 188 4618
- **コダックリーガルフラットベッドアクセサリ** - *コダック*リーガルフラットベッドを使用すると、フィーダに通せない写真（破れの大きい写真、もろい写真、カールのひどい写真など）、製本されたアルバム、スクラップブック、最大 216 x 356 mm（8.5 x 14 インチ）までの原稿をスキャンできます。カタログ番号 119 9470
- **コダック A3 フラットベッド アクセサリ** - *コダック* A3 フラットベッドを使用すると、フィーダに通せない写真（破れの大きい写真、もろい写真、カールのひどい写真など）、製本されたアルバム、スクラップブック、最大 302 x 420 mm までの 原稿をスキャンできます。カタログ番号 818 2271

同梱品一覧

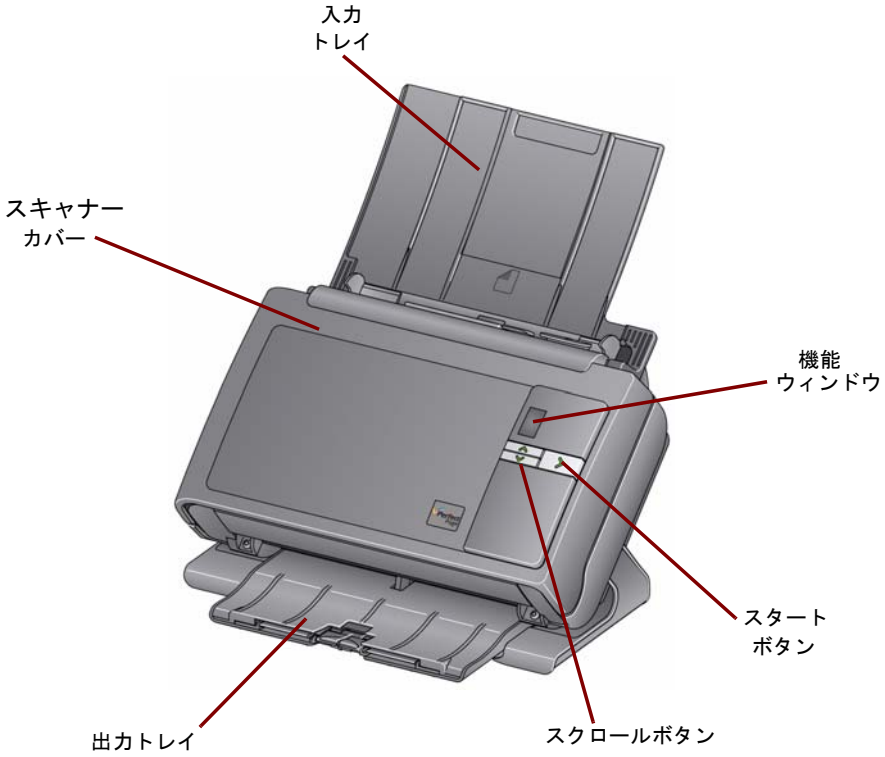
梱包品内容の確認

- *コダック* ピクチャセーバ システム スキャナー
- ドキュメントスキャン用プリセパレーションパッド
- *コダック* ピクチャセーバ標準セパレーションモジュール
- USB 2.0 ケーブル
- 電源アダプタ
- AC 電源コード
- USB ソフトウェアドングル
- クリーニングキットのサンプル
- ダストカバー
- 以下の品目が入ったフォルダ
  - 以下のソフトウェアを収録したインストール CD :
    - *コダック* ピクチャセーバ システム ソフトウェア
    - ドキュメントスキャン用 スマートタッチソフトウェア
    - ピクチャセーバ システム用 スキャナードライバソフトウェア
  - リファレンスガイド（英語版）
  - インストールガイド
  - はじめにお読みください
  - サービス＆サポートの問い合わせ先シート
  - その他のパンフレット（「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません）

スキャナーのコンポーネント

前部

下記の図はPS50スキャナーです。



スキャナーカバー - このカバーを開いて、内部のイメージングガイドや給紙／セパレーションモジュールなどのメンテナンスを行います。

入力トレイ - 写真や原稿を収納します。

ファンクションウィンドウ - スマートタッチタスク（カラー PDF、白黒 PDF など）を示す 1～9 の数字が表示されます。スマートタッチ機能の詳細については、スマートタッチのユーザーズガイドを参照してください。

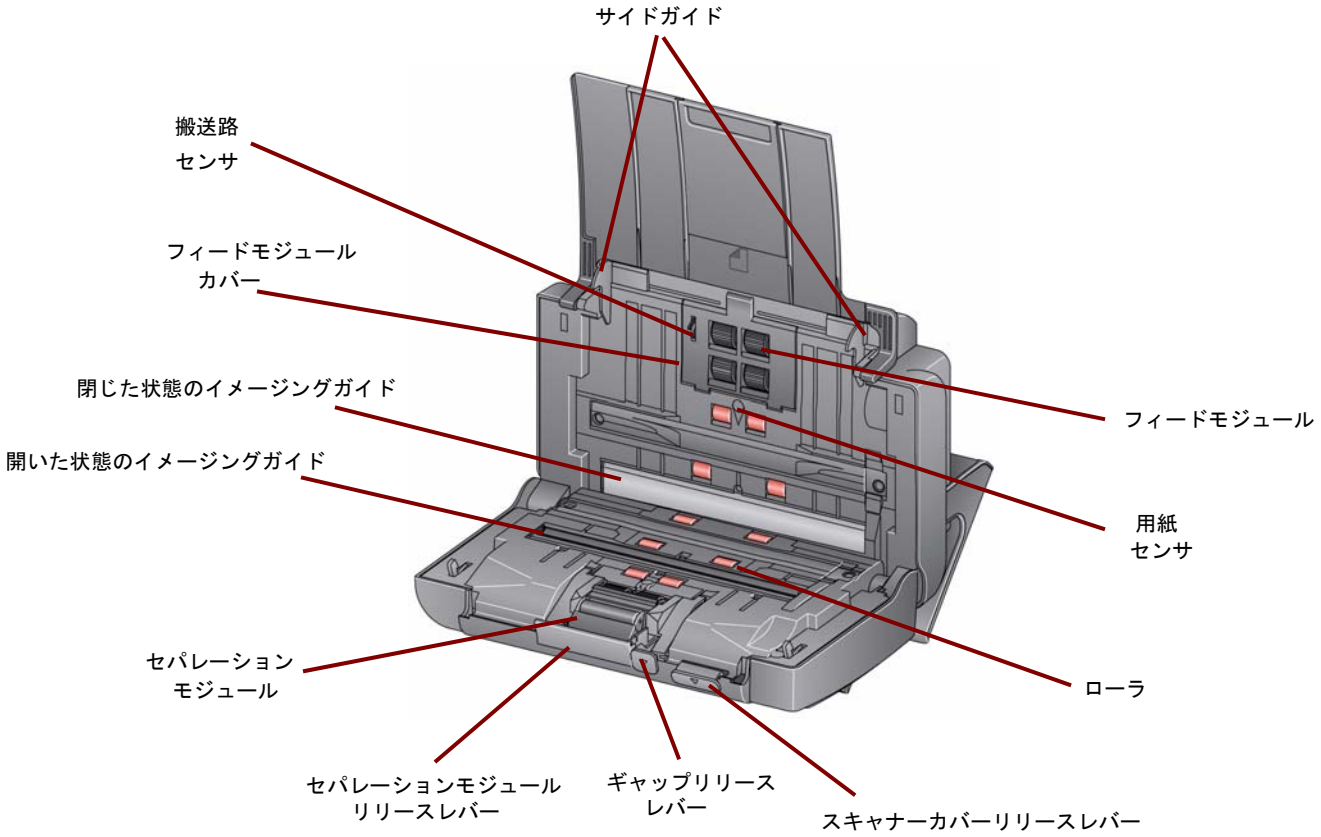
スタートボタン - 点灯か点滅でスキャナーの状態を表します。

- **緑色で点灯**：スキャン準備完了
- **緑色で点滅**：スキャン準備中
- **赤色で点灯**：PC との通信なし
- **赤色で点滅**：「*スキャナーカバーが開いている*」などのエラー状態を表します。このとき、ファンクションウィンドウには「E」と表示されます。
  エラーコードの詳細は、第 7 章「*トラブルシューティング*」を参照してください。

スクロールボタン - 上下スクロールボタンを押して、スマートタッチのタスクを選択します。

出力トレイ - スキャンされた原稿を集めます。

内部



サイドガイド - これらのガイドをスライドさせ、スキャンする写真のサイズに合わせます。

搬送路センサ - スキャナーを通る用紙と写真を検出します。

フィードモジュールカバー - フィードモジュールやフィードモジュールタイヤを清掃、交換する場合に、このカバーを外します。

フィードモジュール、ローラ、セパレーションモジュール - さまざまなサイズ、厚さ、素材の写真をスムーズに給紙し分離します。

開いた状態のイメージングガイド - 最適な画質を実現するため、イメージングガイドを清潔に保ってください。カメラ内に空気を吹き込まないようにしてください。第7章「*トラブルシューティング*」を参照してください。

閉じた状態のイメージングガイド - 最適な画質を実現するため、イメージングガイドを清潔に保ってください。この部分は、コダックのクリーニング用品で清掃できます。第5章「*メンテナンス*」を参照してください。

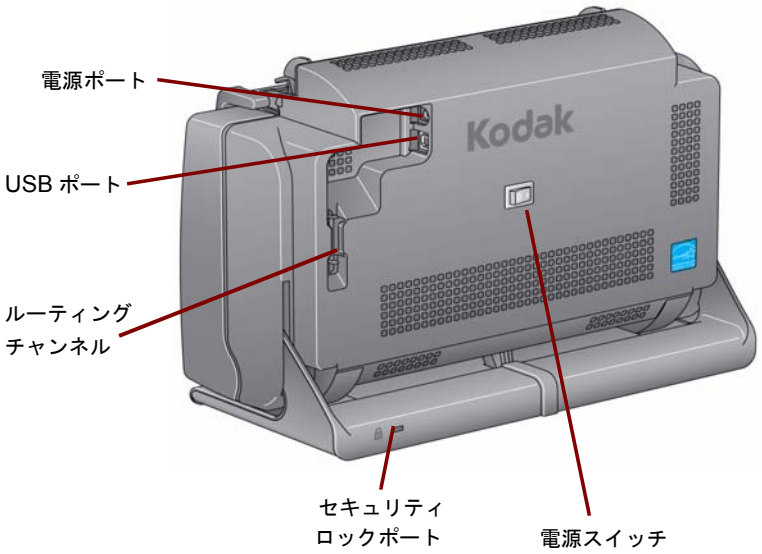
セパレーションモジュールリリースレバー - セパレーションモジュールを清掃、交換する場合、このレバーを下に押してモジュールを取り外します。

ギャップリリースレバー - 特別な処理を必要とする写真（大きく破れた写真など）の場合は、このレバーで、フィードモジュールとセパレーションモジュール間のスペースを手動で調整できます。

スキャナーカバーリリースレバー - スキャナーカバーを開くためのレバー。搬送路を開いて、紙詰まりの除去や清掃ができます。

用紙センサ - 入力トレイにセットされた写真や原稿を検出します。

後部



電源ポート - 電源をスキャナーに接続します。

USB ポート - スキャナーを PC へ接続します。

ルーティングチャネル - USB ケーブルと電源コードを固定し、スキャナーを移動する際に保護します。

セキュリティロックポート - セキュリティロックとスキャナーを接続します（ノート PC に使用されるセキュリティロックポートと同類）。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでお買い求めください。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。

電源スイッチ - スキャナーの電源をオン／オフします。

2 インストール

目次

スキャナーの接続 2-1
インストールにおける注意事項 2-2
コダック ピクチャセーバ システム ソフトウェアのインストール 2-2
電源コードと USB ケーブルの接続 2-4
スキャナーの電源を入れる 2-5
トグル電源スイッチでスキャナーをオフにする 2-6
ロッカー電源スイッチでスキャナーをオフにする 2-6
アプリケーションソフトウェアの起動 2-6
アプリケーションソフトウェアの終了 2-6

スキャナーの接続

このセクションでは、スキャナーに付属の『*インストールガイド*』の詳細について説明します。手順を順番に実行して、スキャナーを設置してください。システムのインストールと使用の詳細については：
www.kodakalaris.com/go/picturescanning で「***コダック ピクチャセーバ スキャンシステム PS50***」を選択してください。［*サポート*］タブの［**ビデオリソース**］を選択します。

注：『*インストールガイド*』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。

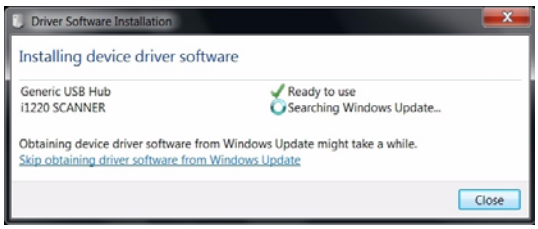
- まず、PC に接続しているすべてのスキャナーの電源を切ってから、ピクチャセーバ ソフトウェアアプリケーションをインストールします。
- ソフトウェアをインストールしたら、スキャナーを PC に接続します。
- PC の管理者権限を持っていることを確認します。ピクチャセーバ スキャンシステムのアプリケーションは、**管理者**権限でインストールし、**管理者**または**標準**グループとして実行する必要があります。
- 稼働中のアプリケーションをすべて終了します。
- USB ソフトウェアドングルを使用しているアプリケーションをすべて終了してから、ピクチャセーバ スキャンシステムをインストールします。
- すべてのスキャンアプリケーション（Scan Validation Tool および Smart Touch を含む）を終了します。
- PC に接続された USB ソフトウェアドングルをすべて取り外します。
- 製品登録にはインターネット接続が必要です。

  注：インターネットに接続できない場合は、テクニカルサポート（第 7 章「連絡先の情報」参照）に連絡してください。

インストールにおける注意事項

Windows 7 および 8

Windows 7 および 8 にインストールする場合、ソフトウェアをインストールし、スキャナーを起動すると以下のメッセージが表示される場合があります。



- 「**Windows アップデートからドライバソフトウェアを入手しない**」というリンクをクリックします。

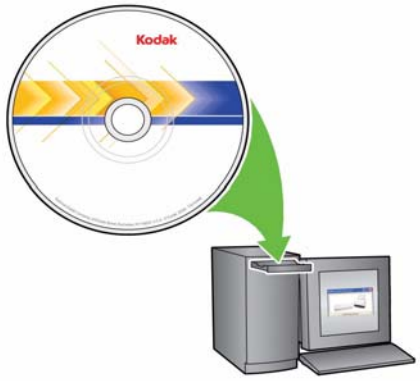
*コダック*オールインワンホームセンターソフトウェアと*コダック* ピクチャセーバ システムアプリケーションを同じ PC 上でインストールやアップグレードを実行すると、PS50 レジストリエントリが削除される場合があります。この結果、*コダック* ピクチャセーバ システムアプリケーションソフトウェアの動作に支障が出ます。アプリケーションのスプラッシュ画面の代わりに、製品登録画面が表示される場合があります。この問題が発生した場合は、*コダック* ピクチャセーバ アプリケーションを再インストールして再登録してください。

コダック ピクチャセーバ システム ソフトウェアのインストール

1. *コダック* ピクチャセーバ システム ソフトウェアのインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

   注： インストールプログラムが自動起動しない場合、CD をセットしたドライブにアクセスして、CD のルートディレクトリにある INSTALLSTW.exe ファイルを起動します。

2. ［**インストール言語**］を選択します。



3. ［ようこそ］画面が表示されたら、［**次へ**］をクリックします。
4. ソフトウェアライセンス使用許諾を読み、その条件を受諾したら、［**次へ**］をクリックします。
5. スキャンした画像をデフォルトの C:￥Scanned_Pictures ディレクトリに保存する場合は、［**OK**］をクリックします。別の場所に保存する場合は、［参照］パネルで対象のディレクトリを選択するか、ディレクトリのフルパス名を入力します。終了したら、［**OK**］をクリックします。

進捗状況を示すメッセージが数回表示されます。

注：

- Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 にインストールする場合、インストーラの実行を許可するプロンプトが表示される場合があります。インストールする場合は［**実行**］を選択します。
- .NET Framework の正しいバージョンがインストールされていない場合は、.NET Framework がインストール中であることを示すメッセージボックスが表示されます。このインストールには数分かかる場合があります。
- 正しいバージョンの Microsoft C++ redistributable runtime library がインストールされなかった場合、ソフトウェアのインストールを促すメッセージが表示されます。**インストールプロセスをキャンセルしないでください。**

6. Windows XP を使用している場合、ストレージ用に Microsoft Feature Pack のインストールが求められる場合があります。インストールする場合は［**はい**］を選択します。ピクチャセーバ スキャンシステムのインストールは、製品登録が必要です。製品登録には、ピクチャセーバ スキャンシステム ソフトウェアアプリケーションを使用します。

   製品登録にはインターネット接続が必要です。次のインターネットアドレスがブロックされていないことを確認してください。
   https://www.onlineregister.com インターネットに接続できない場合は、テクニカルサポート（第 7 章「連絡先の情報」参照）に連絡してください。

   注：また、製品登録にはスキャナーのシリアル番号が必要です。スキャナーのシリアル番号はスキャナーの底部および梱包箱に記載されています。

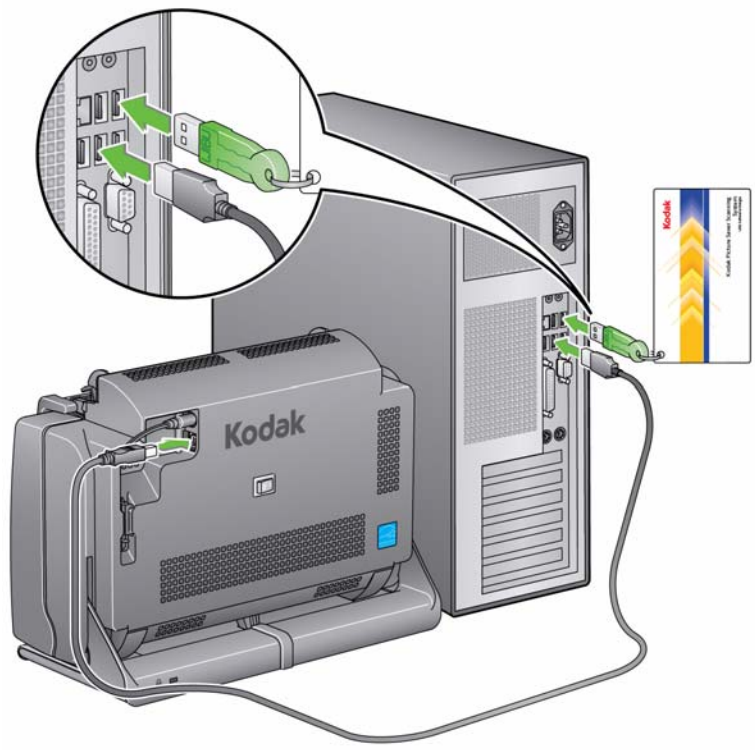
7. インストールが完了したら、［**完了**］をクリックします。
8. インストール CD を CD-ROM ドライブから取り出します。ピクチャセーバ システムアプリケーションのショートカットがデスクトップに作成されます。
9. PC を再起動します。
10. *コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムの固定画面サイズは 1024 x 768 です。タスクバーのプロパティを変更する場合、［タスクバーを他のウィンドウの前面に常に表示］の選択を解除します。これにより、画面解像度が 1024 x 768 のとき、タスクバーがアプリケーションの下部にかぶってしまうことがなくなります。または、表示プロパティを 1024 x 768 より高い解像度（1280 x 1024 など）に設定して、アプリケーションがデスクトップ全体を覆わないようにすることもできます。

電源コードと USB ケーブルの接続

ピクチャセーバ システムのインストールが完了したら、電源、電源コード、USB ケーブルをスキャナーに接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーまで 1.52 m 以内にあり、余裕を持ってコンセントに接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 選択した電源コードを電源アダプタに接続します。

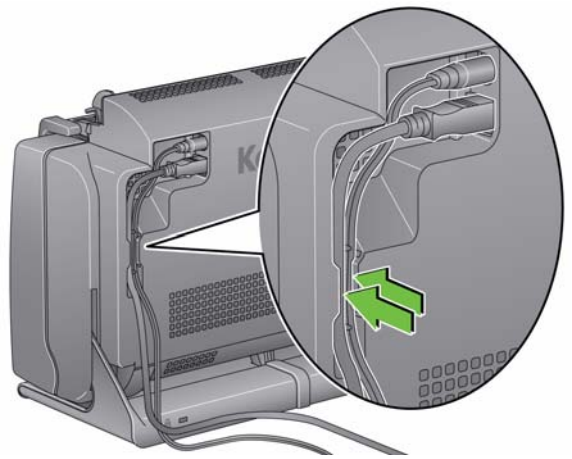
   注：電源コードが電源アダプタにしっかり接続されていることを確認してください。
3. 電源アダプタから伸びる電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。
4. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。



注：電源の LED が緑色の場合は、電源がオンであることを意味します。

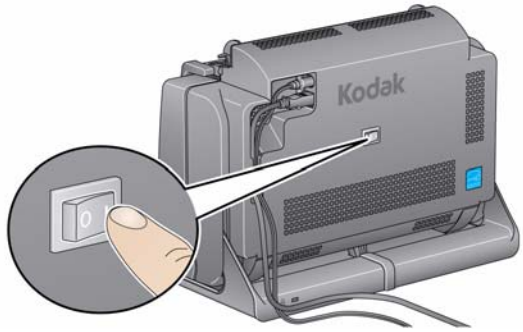
5. USB ケーブルをスキャナー後部にある USB ポートに接続します。
6. USB ケーブルのもう一端を PC の正しい USB 2.0 ポートに接続します。

7. 電源コードと USB ケーブルをスキャナー背面のルーティングチャネルで固定します。



スキャナーの電源を入れる

1. スキャナーにトグル電源スイッチがある場合は、スキャナー背面のトグルボタンを押してスキャナーをオンにします。ない場合は、スキャナー側面のボタンを押してオンの位置 (I) にします。



スキャナーの電源を入れると、スキャナー前面の LED インジケータが点滅し、スキャナーが一連のセルフテストを実行していることを示します。

オペレーティングシステムがスキャナーとインストールしたソフトウェアを同期させるまで待機します。

初期化処理が終了してスキャン準備完了になると、LED インジケータが点滅しなくなり、緑色に点灯した状態になります。

2. スキャナーの設定が完了し、写真のスキャンができるようになったら、PC の USB ポートに USB ソフトウェアドングルを挿入します。PC が USB ソフトウェアドングルを認識するまで待機します。

注：USB ソフトウェアドングルを紛失しないよう注意してください！ドングルを再発行するには手数料が発生します。ドングルはスキャナー USB ケーブルに取り付けることをお勧めします。

トグル電源スイッチでスキャナーをオフにする

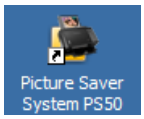
スキャナーをオフにするには、トグルボタンを 1 秒間押し続けます。

注：スキャナーが省電力モードになってから一定時間経過した場合にも、*電源オフ*省エネ機能により、スキャナーがオフになります。デフォルト値は 60 分ですが、スキャンアプリケーションで時間を設定できます。有効値は 0 ～ 240 分です。

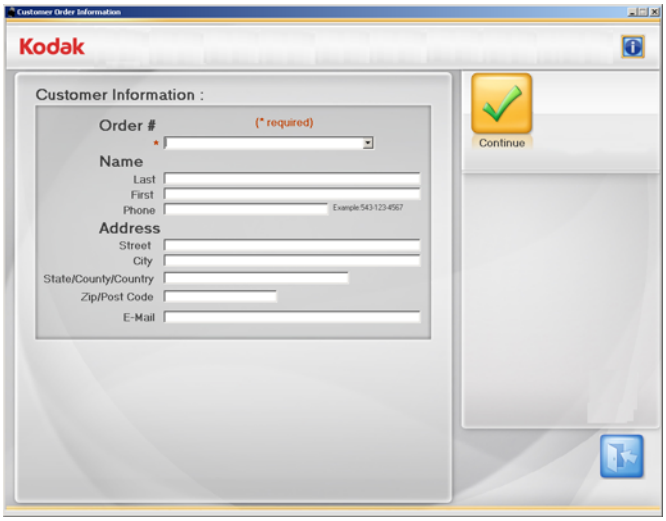
ロッカー電源スイッチでスキャナーをオフにする

スキャナーにロッカー電源スイッチがある場合は、スキャナー背面のボタンを押してオフの位置 (O) にします。

アプリケーションソフトウェアの起動



1. アプリケーションを起動する前に、コダックフラットベッドアクセサリの電源をオンにします。
2. デスクトップ上のアプリケーションショートカットをダブルクリックするか、**[スタート] > [プログラム] > [kodak] > [KODAK Picture Saver System] > [Picture Saver System PS50]** を選択します。[顧客情報] 画面が表示されます。



ソフトウェアの終了

- ほとんどの画面の右下にある［**終了**］アイコンをクリックするか、右上にある［**閉じる**］ボックスをクリックします。

3 画面の説明

目次

［顧客情報］画面 3-2
［画像のスキャン］画面 3-3
［フォトセレクタ］画面 3-7
［スキャンビューア］画面 3-9
［スキャン設定］画面 3-10
［画像の編集］画面 3-12
［注文のプレビュー］画面 3-14
［詳細のプレビュー］画面 3-15
［注文の概要と作成］画面 3-17
CD/DVD 作成 3-18
コダックピクチャ CD への 書き込み 3-20
コピー先 3-21

この章では、コダック ピクチャセーバ スキャンシステムで使用する画面やアイコンについて説明します。

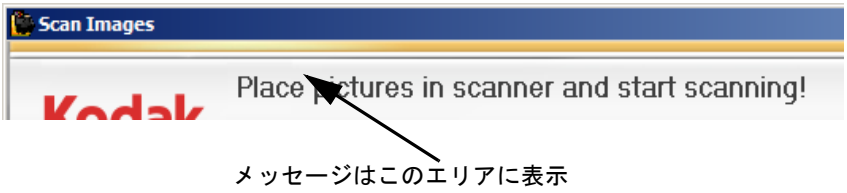
注： この章で説明する一部の画面とオプションは、コダック フォトセレクタ アクセサリがインストールされ、有効になっている場合にのみ使用できます。

コダック ピクチャセーバ スキャンシステムのすべての画面に、次のアイコンがあります。

バージョン情報：ソフトウェアのバージョンと著作権情報を表示します。

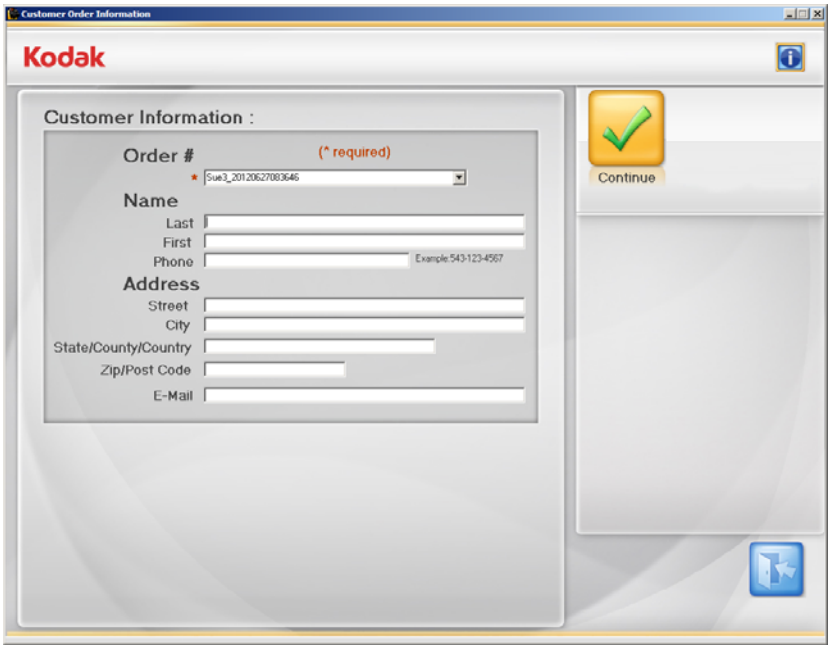
終了：コダック ピクチャセーバ システムソフトウェアを終了します。

メッセージエリアが各画面のタイトルバーの下にあります。



［顧客情報］画面

ピクチャセーバ システム ソフトウェアを起動すると、［顧客注文情報］画面が表示されます。



顧客情報

注文番号（必須） - 追加したいテキストを入力するか、ドロップダウンの矢印をクリックして前回の注文を選択します。このテキストには新規注文の日時が追加されます。これは入力必須フィールドです。このフィールドには、最大 51 文字の英数字を入力できます。

名前と住所 - オプションとして、顧客の名前、住所、電子メールアドレスを入力できます。これらは必須フィールドではありません。

注： 前回の注文を開くと、これらのフィールドには保存された値が自動的に入力されますが、日付は変更されます。

- *姓*、*名*、*町名*、*番地*、*市*の各フィールドには 58 文字まで入力できます。
- *都道府県/国と電話番号*のフィールドには、42 文字まで入力できます。
- *電子メール*のフィールドには、58 文字まで入力できます。E メールアドレスを入力する場合は、アドレスを正しいフォーマットにする必要があります。
- *郵便番号*のフィールドには、24 文字まで入力できます。

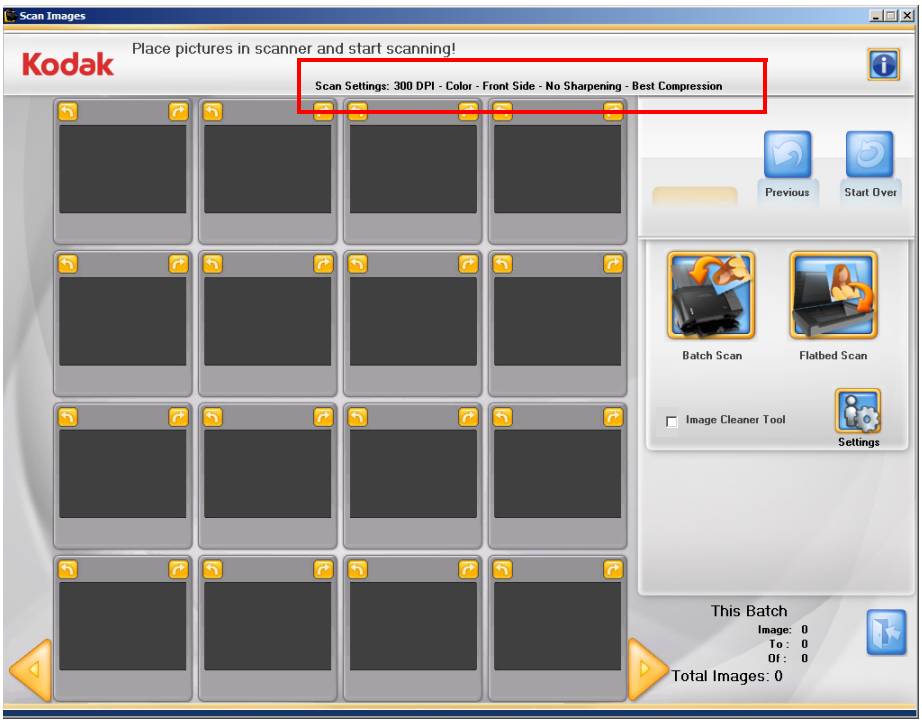
  注： この情報は、.xml ファイルで画像の保存先と同じディレクトリに保存されます。

次へ - ［画像のスキャン］画面を表示します。

［画像のスキャン］画面

［顧客情報］画面で［**次へ**］をクリックすると、［画像のスキャン］画面が表示されます。

スキャン設定 - スキャン画面の上部に現在のスキャン設定が表示されます。この設定を変更したい場合、［**設定**］ボタンをクリックしてください。スキャン設定の詳細については、「［スキャン設定］画面」を参照してください。



16 画面表示ウィンドウ - アクティブフォルダ内で 1 度に最大 16 枚の画像を表示します。

前の 16 画面に移動します。

次の 16 画面に進みます。

戻る - ［顧客情報とオーダー情報］画面に戻ります。

初めからやり直す - ［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。「***最初からやり直しますか？***」というメッセージが表示されます。

バッチスキャン - ピクチャセーバ システムスキャナーを使用して写真のバッチをスキャンして、［スキャンビューア］画面に表示します。

フラットベッドスキャン - オプションのコダックA3/リーガルフラットベッドを接続すると、このボタンが表示されます。写真がフラットベッドからスキャンされ、［スキャンビューア］画面または［フォトセレクタ］画面（インストールされて有効になっている場合）が表示されます。

画像修整ツール - オンにすると、スキャン中に画像に入った縦縞の除去が試行されます。画像修整ツールを有効にしてもスキャンプロセスは遅くなりません。画像に線が出る場合、大抵の原因はスキャナーに溜まったほこりや汚れです。スキャナーを常にきれいにして、画像に縦縞が出ないようにしてください。

注： 画像修整ツールは、フラットベッドスキャンと表面スキャンには適用されません。

設定 - 選択すると［スキャン設定］画面が表示されます。この画面で、バッチスキャンモード、イメージ最適化、解像度、その他の設定を変更できます。スキャン設定の詳細については、「［スキャン設定］画面」を参照してください。

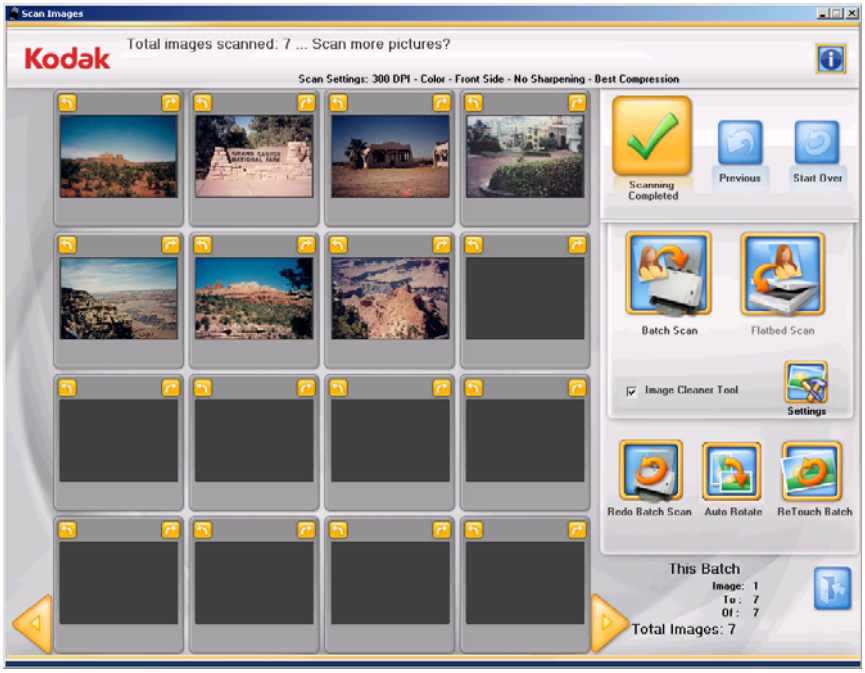
このバッチ

- **画像**：［16 画面表示］ウィンドウに表示されている最初の画像の番号が表示されます。
- **最終画像**：［16 画面表示］ウィンドウの最後の画像の番号が表示されます。
- **合計**：このバッチでスキャンした画像の総数を表示します。

画像の総数 - オーダーの合計画像数を表示します。

［画像のスキャン］画面（続き）

［スキャン］画面で［**バッチスキャン**］または［**フラットベッドスキャン**］をクリックすると、写真のスキャンに伴って1画面のフルサイズ画像が［スキャンビューア］画面に表示されます。バッチのスキャン後、［スキャンビューワ］画面が閉じて、写真はスキャンの順番どおりに再配置されて表示されます。バッチの全画像または個々の画像編集や、別のバッチスキャンや、スキャンを続行したりすることができます。



注： 個々の画像を編集するには、編集したいサムネイルをクリックします。［画像の編集］画面が表示されます。

16画面表示ウィンドウ - 1度に最大16枚の画像を表示します。最新のスキャン画像が最初に表示されます。

スキャン完了 - 注文のプレビュー画面が表示されます。

前の16画面に移動します。

次の16画面に進みます。

画像を左回り（反時計回り）に90度回転します。

画像を右回り（時計回り）に90度回転します。

戻る -［顧客情報とオーダー情報］画面に戻ります。

初めからやり直す -［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。「***最初からやり直しますか？***」というメッセージが表示されます。

バッチスキャン - 他の写真のバッチをコダック ピクチャセーバ システムスキャナーから同じ注文番号にスキャンできます。

フラットベッドから - 接続されているコダックA3/リーガルフラットベッドアクセサリから、他の写真をスキャンできます。

画像修整ツール - このオプションを有効にすると、スキャン中に画像に出た線の除去が試行されます。画像修整ツールを有効にしてもスキャンプロセスは遅くなりません。画像に線が出る場合、大抵の原因はスキャナーに溜まったほこりや汚れです。スキャナーを常にきれいにして、画像に縦縞が出ないようにしてください。

注： 画像修整ツールは、フラットベッドスキャンと表面スキャンには適用されません。

設定 - 選択すると［スキャン設定］画面が表示され、バッチごとに設定を変更できます。スキャン設定の詳細については、「[スキャン設定］画面」を参照してください。

バッチ再スキャン／フラットベッドから再スキャン - スキャン画像の最後に実行したバッチのやり直しや、再スキャンを実行します。また、［スキャンビューア］画面が表示されます。

自動回転 - 有効にすると、画像が正しい方向に自動的に回転するよう試行します。写真に顔が含まれる場合にはこのオプションは効果的ですが、場合により手動で写真を回転する必要がある場合もあります。

- 両面スキャンでは、裏面イメージは表面イメージで検出された方向に自動的に回転されます。
- 自動回転はロスレスで行われます。
- 自動回転は現在のバッチの全画像に適用されます。

コダック Perfect Touch - バッチ内の画像の（色、コントラスト、明度など）を自動的に編集します。このオプションを選択すると、コダック Perfect Touch の進捗を示すバーが画面の上部に表示されます。

- コダック Perfect Touch は現在のバッチの全画像に適用されます。

このバッチ

- **画像**：［16 画面表示］ウィンドウに表示されている最初の画像の番号が表示されます。
- **最終画像**：［16 画面表示］ウィンドウの最後の画像の番号が表示されます。
- **合計**：現在のバッチにある画像の総数を表示します。

画像の総数 - 注文の合計画像数を表示します。

［フォトセレクタ］画面

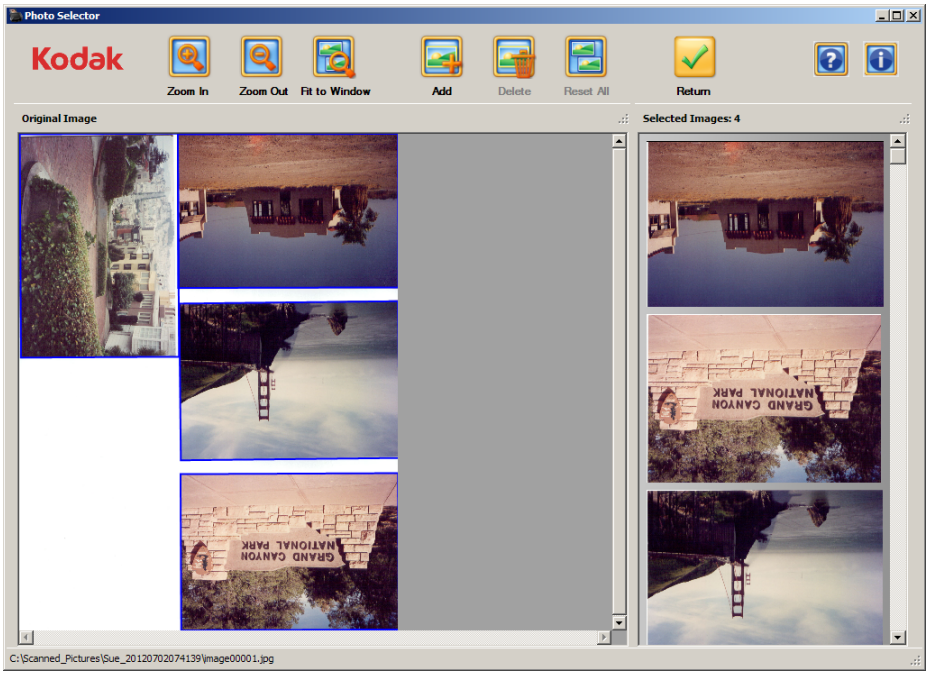
コダックフォトセレクタアクセサリをお持ちの場合、**［フラットベッドから］**または**［フラットベッドから再スキャン］**をクリックすると、［フォトセレクタ］画面が表示されます。

注： このオプションは、［スキャン設定］画面で有効にする必要があります。詳細については、後述の「［スキャン設定］画面」を参照してください。

このアクセサリをお持ちでない場合は、このセクションをスキップして、次の「［スキャンビューア］画面」に進んでください。

コダックフォトセレクタアクセサリを使用すると、写真をアルバムからはがしたりページプロテクタを外さなくても、フォトアルバムやスクラップブックからページをスキャンできます。コダックリーガルフラットベッドアクセサリやコダックA3フラットベッドアクセサリを使用すると、フラットベッドでスキャンした元の画像から個別に識別、選択されます。これらはまとめて*別画像*と呼び、個々に選択した画像は*選択フレーム*と呼びます。

画像を分けて保存した後、写真編集オプションを使用して画像編集、赤目除去などを行うことができます。

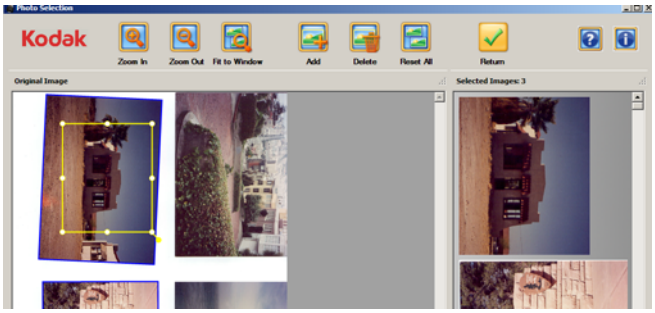


［元のイメージ］ウィンドウ - フラットベッドからスキャンしたアルバムページの元の画像が表示されます。写真が自動的に識別され、青色の選択フレームでマークされます。

［選択したイメージ］ウィンドウ - スキャンした元の画像から分けられた個々の画像と、画像の総数が表示されます。元の画像で行った選択フレームの変更が、このウィンドウに表示されます。たとえば、［元のイメージ］ウィンドウから画像選択フレームを削除すると、［選択したイメージ］ウィンドウからその画像が削除されます。

青色の選択フレーム - スキャン後に、写真の枠をアウトライン表示します。個々の画像選択をクリックすると、青色の選択フレームが黄色に変わり、［削除］ボタンがアクティブになります。

黄色の選択フレーム - 個々の画像選択をクリックすると、青色の選択フレームが黄色に変わり、［削除］ボタンがアクティブになります。黄色の選択フレームを使用して、スキャン後に画像を修正したり、画像をリサイズ、クロッピングできます。黄色の選択フレームを使用して変更すると、直後に［選択したイメージ］ウィンドウに変更後の画像が表示されます。



ズームイン -［元のイメージ］ウィンドウで画像を拡大します。

ズームアウト -［元のイメージ］ウィンドウで画像を縮小します。

ウィンドウに合わせる -［元のイメージ］ウィンドウで画像を拡大／縮小し、ウィンドウ全体に合うようにします。

追加 - 選択すると、画像選択フレームをドラッグして［選択したイメージ］ウィンドウに画像を追加することができます。

削除 - 画像を選択して**［削除］**をクリックすると、その画像が［選択したイメージ］ウィンドウから削除されます。

すべてリセット - 選択すると、元の自動的に分けられた画像に戻ります。このオプションは、何らかの変更を行った場合に有効になります。

戻る - クリックすると、［画像のスキャン］画面に戻ります。画像を変更した場合、「***選択した画像を保存しますか？***」というメッセージが表示されます。

［スキャンビューア］画面

［バッチスキャン］、**［フラットベッド］**、**［バッチのやり直し］**、**［フラットベッドスキャンのやり直し］**または**［スキャンのやり直し］**をクリックすると、［スキャンビューア］画面が表示されます。

この画面にはスキャン中、1 枚ずつ画像が表示され、スキャンが完了すると自動的に閉じます。

表示の一時停止／表示の継続 - この機能を選択すると、現在表示されている画像が維持されます。再度選択すると、最新のスキャン画像に更新されます。

スキャナー停止 - 選択するとスキャンを停止します。［画像のスキャン］または［画像の編集］画面が表示されます。

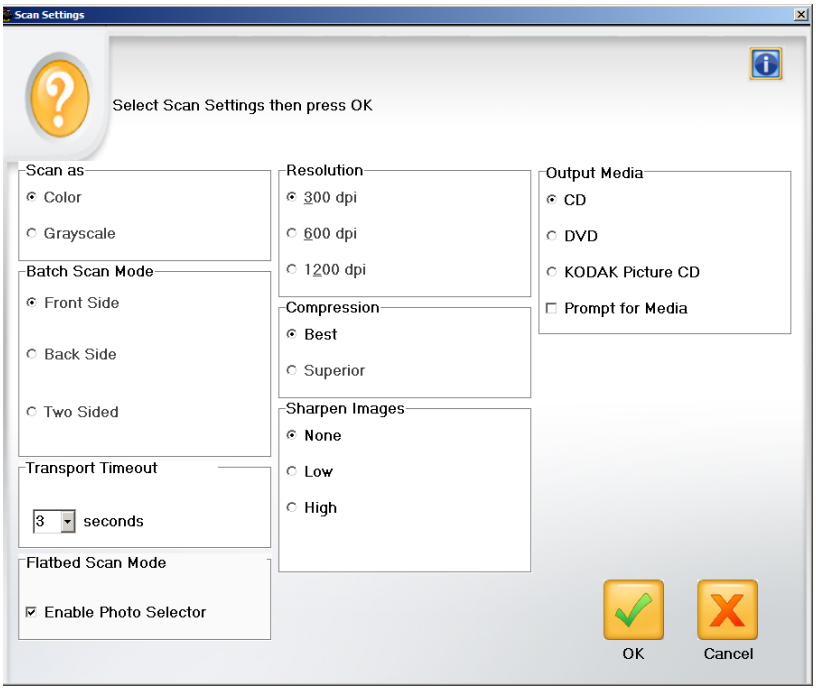
注：**［スキャナー停止］**のクリック時にフィーダに写真がないと、トランスポートタイムアウトになるまでスキャナーが引き続き動作し、［画像のスキャン］または［画像の編集］画面が表示されます。長いトランスポートタイムアウトを回避するには、スキャナーに写真を置いてスキャナー経由で写真を搬送します。こうすると、写真の終了時に搬送が停止します。この写真は、スキャンした画像のバッチには入りません。

戻る - ［画像のスキャン］または［画像の編集］画面に戻ります。

［スキャンビューア］では更新レートを調整して、各画像の表示または 1～10 枚ずつまでのスキャン画像のサンプリングを指定できます。［スキャンビューア］画面は無効にすることもできます。詳細については、第 7 章「*アプリケーションの設定*」を参照してください。

［スキャン設定］画面

［スキャン設定］画面では、スキャン時に使用するデフォルト設定（図）を変更できます。



スキャン方法 - **カラー**または**グレー**スケールのいずれかを選択します。

注：スキャン画像にコダック Perfect Touch や最適化プロセスを適用するために（白黒やグレースケールを含め）すべての写真をカラースキャンすることをお勧めします。**グレースケール**スキャンは、カラースキャンの結果が思わしくない場合にのみ使用してください。

バッチスキャンモード - 次のバッチスキャンモードの 1 つを選択します。

- **表面** - 入力トレイの写真の表面をスキャンします。写真にはこのモードをお勧めします。
- **裏面** - 入力トレイの写真の裏面をスキャンします。
- **両面** - 写真の両面を A と B とラベル付けされた 2 つの個別の画像ファイルとしてスキャンします。

  注：写真は表を上向きにして、上端をスキャナーに向けてセットします。

トランスポートタイムアウト - 最後の写真が転送されてからトランスポートタイムアウトが実行されるまでの時間を設定します。次の写真またはドキュメントを現在のバッチに入れるまでの時間を確保するために、1 ～ 20 秒の時間の遅延を指定できます。

フラットベッドスキャンモード - このオプションは、*コダック フォトセレクタ* アクセサリがある場合にのみ表示されます。

- **フォトセレクタを有効にする** — このオプションをオンにしてフォトセレクタアクセサリを有効にします。詳細については、この章の前述の「［フォトセレクタ］画面」セクションを参照してください。

解像度 - 1 インチあたりのドット数 (dpi) を選択できます。この選択は、画像のサイズに影響します。300、600、1200 dpi から選択できます。デフォルトは 300 dpi です。通常は、300 dpi で充分です。600 dpi または 1200 dpi を選択すると、スキャンと処理の時間が長くなります。

圧縮 - 次のいずれかの圧縮方式を選択します。**[最高]** がデフォルトです。

- **最高** - 最適な圧縮での最高画質です。**[高画質]** よりもファイルサイズが小さくなります。スキャンされた画像ファイルを標準サイズで再度印刷する場合は、**[最高]** を選択します。
- **高画質** - 圧縮を最低限に抑えた高画質です。**[最高]** の圧縮よりも5～10倍サイズが大きいファイルを作成します。ファイルサイズが大きいためパフォーマンスに影響します。スキャンした画像ファイルを拡大して再度印刷する場合は、**[高画質]** を選択します。

画像を鮮明にする - スキャンした画像のフォーカスや輪郭を鮮明にします。このオプションが選択されると、バッチ内のすべての写真（スキャンされる予定の写真）は設定が変更されない限り、最適化されます。

オプションは、

- **なし**：画像は最適化されません。デフォルト設定です。
- **低**：バッチスキャンの完了後に、シャープニング（小）が適用されます。
- **高**：バッチスキャンの完了後に、シャープニング（大）が適用されます。

注： **低**：シャープニングが必要な場合、通常推奨されるシャープニング設定は小です。このオプションをグレースケール画像に使用するのはお勧めしません。

出力メディア - ファイルを **CD** または **DVD** に収まるように分割するかどうかをファイルサイズに基づいて決定します。

- **メディアの要求**：選択すると、スキャンの完了後、**コダックピクチャ CD**、**CD** または **DVD** 出力を選択するように要求されます。

［画像の編集］画面

［画像のスキャン］画面でサムネイルをクリックすると、その画像が［画像の編集］画面に表示されます。

元の画像 / 編集後の画像 - ［元の画像］画面には、スキャンされた画像がそのまま表示されます。［編集後の画像］のアイコンの１つ（赤目除去など）を選択すると、その変更が［編集後の画像］画面に反映されます。現在の画像を終了すると、変更の保存を確認するメッセージが表示されます。

戻る - ［画像のスキャン］画面に戻ります。

初めからやり直す - ［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。「***最初からやり直しますか？***」というメッセージが表示されます。

前の画像に戻る

次の画像に進む

画像の編集アイコン

削除 - 選択した画像を削除します。

スキャンのやり直し - 現在の画像を再スキャンした画像に置き換えます。複数の写真を再スキャンした場合、現在の画像から再スキャンした画像に置き換えられ、その場所からスキャンした順番に挿入されます。スキャンの順番の逆転を有効にすると、画像の順番はバッチスキャンと同様に逆転します。複数の画像を再度スキャンする場合、再スキャンした画像はすべて保存する/しないを選択できます。写真の再スキャンは、**[表面]**、**[裏面]**、**[両面]** またはフラットベッドの使用（フラットベッドが接続されている場合）を選択できます。

再スキャンされた画像は［スキャンビューワ］画面に表示されます。

コダック Perfect Touch - スキャンされた画像の色、コントラスト、明度などを編集します。このオプションはカラーでスキャンされた白黒、カラー画像に適用します。

フォトセレクタ - *コダック*フォトセレクタアクセサリがある場合は、このオプションを使用できます。選択すると、［フォトセレクタ］画面が表示されます。

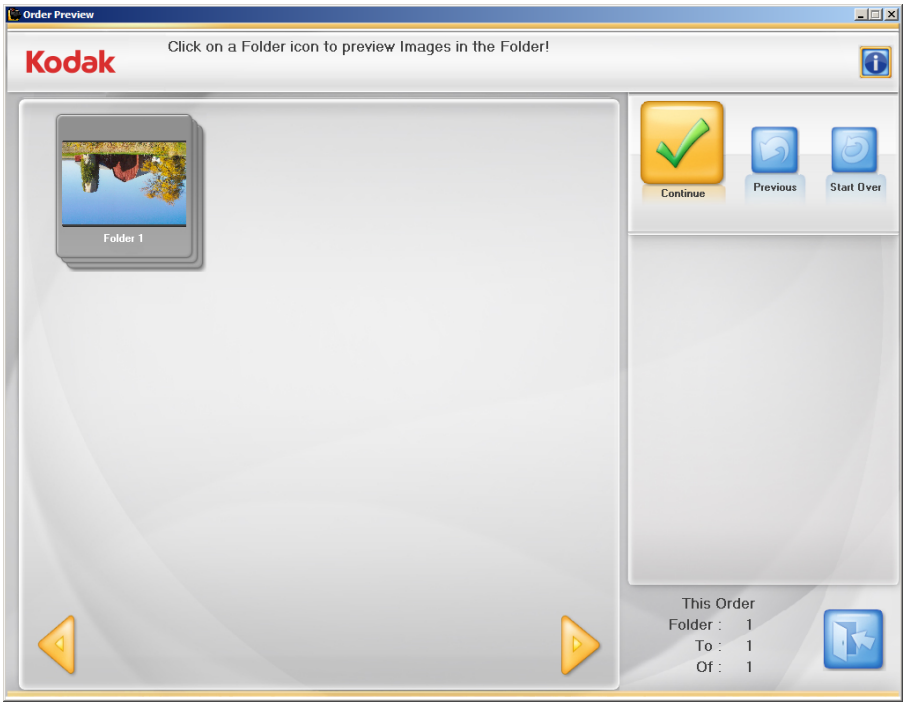
赤目 - スキャン画像の赤目除去を行います。このオプションはカラースキャンされた画像に適用します。

90 度回転 - 画像を左回り（反時計回り）に 90 度回転します。

90 度回転 - 画像を右回り（時計回り）に 90 度回転します。

［注文のプレビュー］画面

［画像のスキャン］画面で［**スキャン完了**］をクリックすると、［注文のプレビュー］画面が表示されます。この画面では、この顧客注文を完了する前に画像をプレビューして変更できます。



デフォルトのフォルダの最大サイズはコダックピクチャ CD では 550 MB、CD では 650 MB、DVD では 4.4 GB です。顧客注文が含む画像が CD または DVD に収まりきれない場合は、スキャン時に複数のフォルダが自動的に作成されます。フォルダサイズの設定の詳細については、7 章の「アプリケーションの設定」を参照してください。

ディスプレイ ウィンドウ - スキャンした写真のフォルダを表示します。フォルダをクリックすると、内容を見ることができます。

前のフォルダセットに移動します。 次のフォルダセットに移動します。

次へ - ［注文の概要と作成］画面を表示します。

戻る - ［顧客情報とオーダー情報］画面に戻ります。

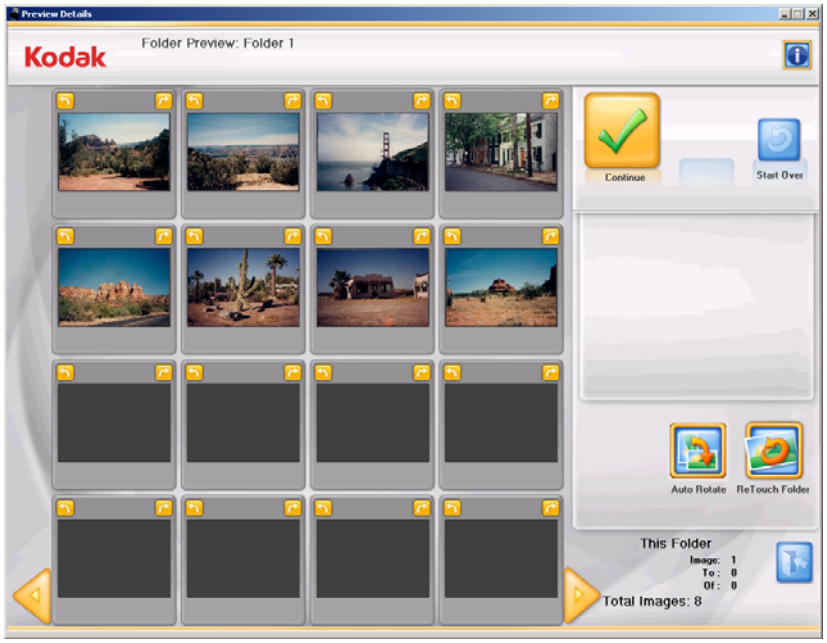
初めからやり直す - ［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。「***最初からやり直しますか？この操作を行うと、スキャンされたファイルがすべて削除されます***」が表示されます。

この注文 - 現在の顧客注文にあるフォルダの概要を表示します。

- **フォルダ**：［注文のプレビュー］ウィンドウに表示されている最初のフォルダの番号が表示されます。
- **最後**：［注文のプレビュー］ウィンドウに表示されている最後のフォルダの番号が表示されます。
- **合計**：現在の顧客注文にあるフォルダの総数を表示します。

［詳細のプレビュー］画面

［画像のスキャン］画面で［**次へ**］をクリックすると、［詳細のプレビュー］画面が表示されます。この画面から画像の手動回転や、個々の画像をクリックして［画像の編集］画面を表示できます。［画像の編集］画面では、画像を編集できます。詳細については、次のセクションを参照してください。



16 画面表示ウィンドウ - 1 度に最大 16 枚の画像を表示します。

画像を左回り（反時計回り）に 90 度回転します。

画像を右回り（時計回り）に 90 度回転します。

次へ -［注文の概要と作成］画面を表示します。

前へ -［画像のスキャン］画面を表示します。

価格リストの表示 -［注文価格リスト］画面を表示します。この画面には、顧客が利用できる各サービスの価格が表示されます。

合計価格 - 顧客注文の累積合計金額を表示します。

メディア - 使用するメディアのパーセンテージを表示します。この値が 100 % に達すると、顧客は現在の注文内では、それ以降の画像をスキャンできなくなります。

画像の編集 -［画像の編集］画面を開いて、最初の画像を表示します。一度に 16 枚の画像を編集できます。スクロールバーを使用して、スキャンされた画像を前後にスクロールし、［**画像の編集**］を選択します。

自動回転 - 有効にすると、画像が正像になる様に自動回転を試行します。このオプションは顔を含む写真で有効に機能するので、写真の中には手動で回転する必要があるものもあります。

両面スキャンは、裏面と表面イメージは同じ方向に自動的に回転します。

注： グレースケールの画像では、自動回転が比較的遅くなります。そのため、白黒写真はカラー画像としてスキャンし、カラースキャンの結果が思わしくない場合にのみ、例外的にグレースケールによるスキャンを使用することをお勧めします。

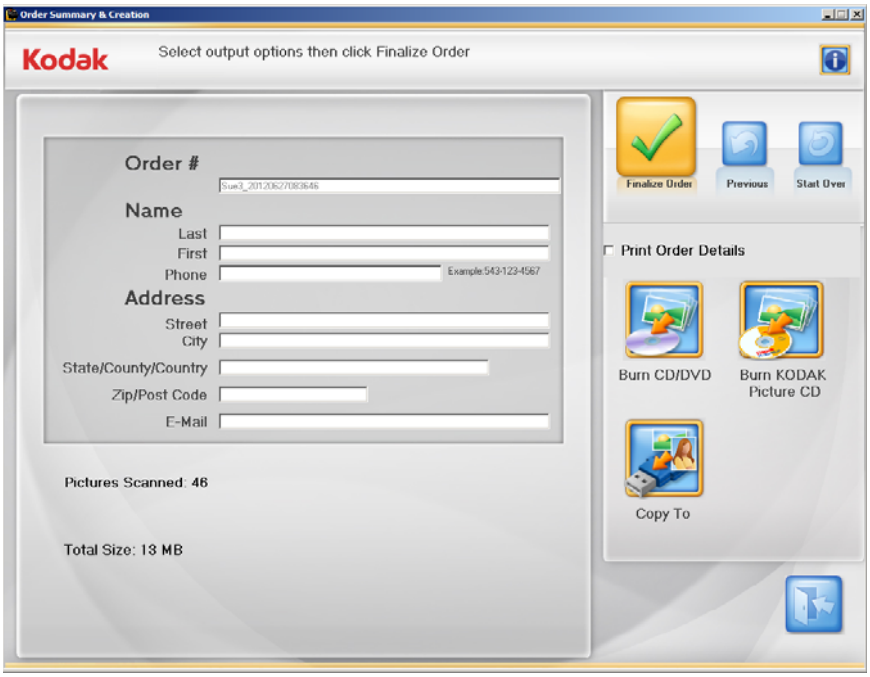
この注文 - 現在の注文にある画像の概要を表示します。

- **画像**：［16 画面表示］ウィンドウに表示されている最初の画像の番号が表示されます。
- **最終画像**：［16 画面表示］ウィンドウの最後の画像の番号が表示されます。
- **合計**：現在のフォルダにある画像の総数を表示します。
- **画像の総数**：現在の顧客注文でスキャンした合計画像数を表示します。

注文のキャンセル -「***この注文をキャンセルしますか？スキャンした写真のイメージはすべて削除されます！***」メッセージが表示されます。注文をキャンセルして［ようこそ］画面に戻るには、**［はい］**をクリックします。

［注文の概要と作成］画面

［注文のプレビュー］画面で **［続行］** をクリックすると、［注文の概要と作成］画面が表示されます。この画面で注文を確定します。



オーダー情報 - ［顧客情報とオーダー情報］画面で入力した情報を表示します。注文番号以外の顧客情報は必要に応じて変更できます。

スキャン済み写真 - スキャンした写真の合計数を表示します。

合計サイズ - 画像ファイルの合計サイズを表示します。

注文を仕上げる - この注文を完了します。注文完了処理の一環として、オプションで注文の概要を印刷できます。

戻る - ［注文のプレビュー］画面が表示されます。

やり直し - ［顧客注文情報］画面に戻り、新規注文を開始します。「***最初からやり直しますか？***」というメッセージが表示されます。

注文明細の印刷

- これを選択すると、オペレーティングシステムの［印刷］ダイアログボックスを使用して注文の概要を印刷できます。その後、別のスキャンセッションを開始するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- これを選択しない場合も、別のスキャンセッションを開始するかどうかを確認するメッセージが表示されます。別のスキャンセッションを開始しない場合は、アプリケーションが終了します。別のスキャンセッションを開始する場合は、［顧客注文情報］画面が表示されます。

［CD/DVD 作成］、**［コダックピクチャ CD 作成］**、**［コピー先］** のいずれかを選択して注文を出力できます。

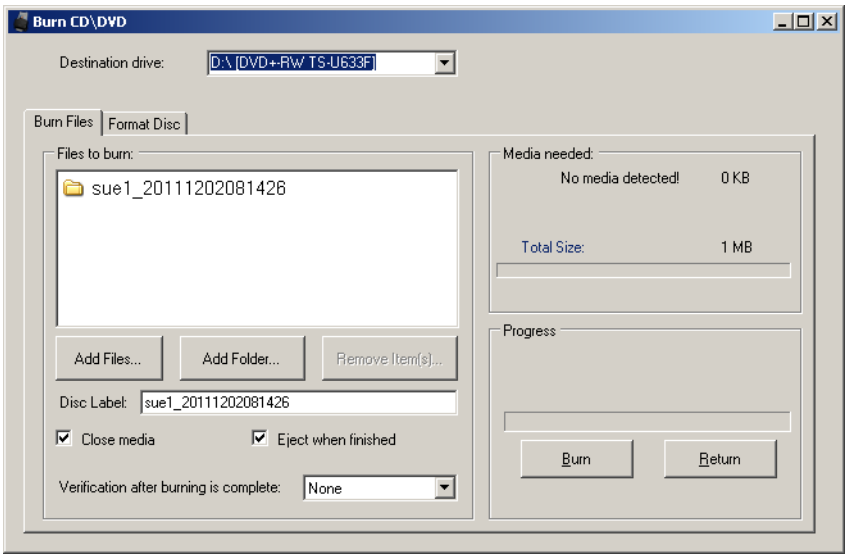
注： CD / DVD 作成の権限がない場合は、すべてのボタンが使用できません。詳細については、第 7 章の「アプリケーションの設定」を参照してください。

CD/DVD 作成

[CD/DVD 作成] ダイアログボックスが表示され、この注文を CD または DVD にコピーできます。これと同じ CD/DVD に他のファイルやフォルダを追加することもできます。各注文のフォルダは、ハードディスク内のオーダーのディレクトリ（デフォルトは default C:￥Scanned_Pictures）から削除されません。

注： 注文のサイズが大きくて 1 枚の CD/DVD に入らない場合は、注文が複数のメディアに分割され、FD_01、FD_02 のようにラベル付けされます。

[CD/DVD にファイルを保存] タブ

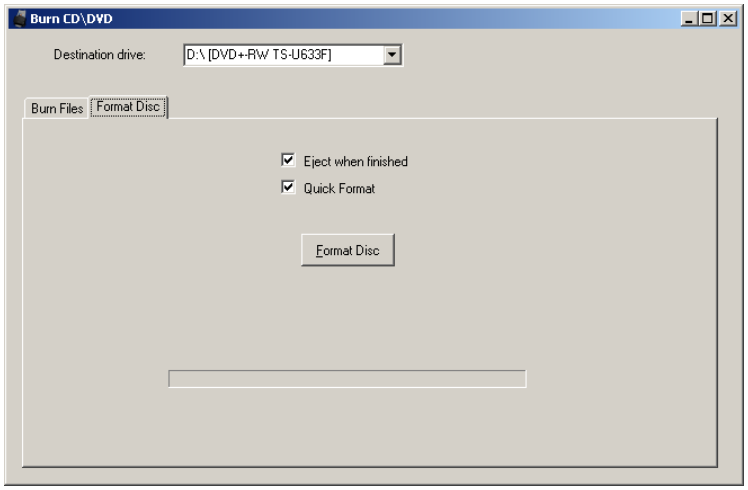


- **保存先ドライブ**：画像を書き込むメディアとして CD/DVD ドライブを選択できます。
- **CD/DVD に保存するファイル**：選択したメディア (CD/DVD) の 1 つに顧客注文一式が収まる場合は、デフォルトで顧客注文フォルダになります。複数の CD/DVD が必要な場合は、注文に含まれる各フォルダが書き込み時に別々に呼び出されます（FD-01、FD-02 など）。複数の CD/DVD が必要な場合は、必要に応じて追加メディアの挿入が要求されます。
- **ファイルの追加**：書き込むファイルやフォルダのリストにファイルを追加するために使用します。
- **フォルダの追加**：書き込むファイルやフォルダのリストに 1 回で 1 つのフォルダを追加するために使用します。
- **ファイルの削除**：書き込むファイル、フォルダのリストから削除するファイルやフォルダを選択できます。
- **ディスクラベル**：デフォルトの注文番号です。デフォルトは変更できます。このフィールドには最大 32 文字まで入力できます。
- **メディアを終了**：デフォルトでオンになっており、CD/DVD が他の PC で再生できるように処理します。
- **完了後にドライブトレイをイジェクトする**：オンにすると、書き込みの完了時に CD/DVD が自動的にイジェクトされます。

- **CD/DVD 作成後に確認**：作成完了時に、**［なし］**（検証が行われない）を選択するか、データが正常に書き込まれたかを検証するプロセスである**［簡易］**または**［完全］**を選択できます。
- **CD/DVD 作成 / 戻る** - このボタンをクリックして、CD/DVD の作成を開始またはキャンセルします。進行中の書き込みをキャンセルすると、書き込み中の CD/DVD が使用できなくなります。**［CD/DVD 作成］**を選択するとメディアが回転するので、書き込みの開始が遅れる場合があります。
- **戻る** - このボタンをクリックすると、［注文の概要と作成］画面に戻ります。

［ディスクのフォーマット］タブ

［CD/DVD 作成］画面には以前使用した CD-RW/DVD-RW をフォーマット（クリア）して再使用するための［ディスクのフォーマット］タブがあります。このタブには次のオプションがあります。



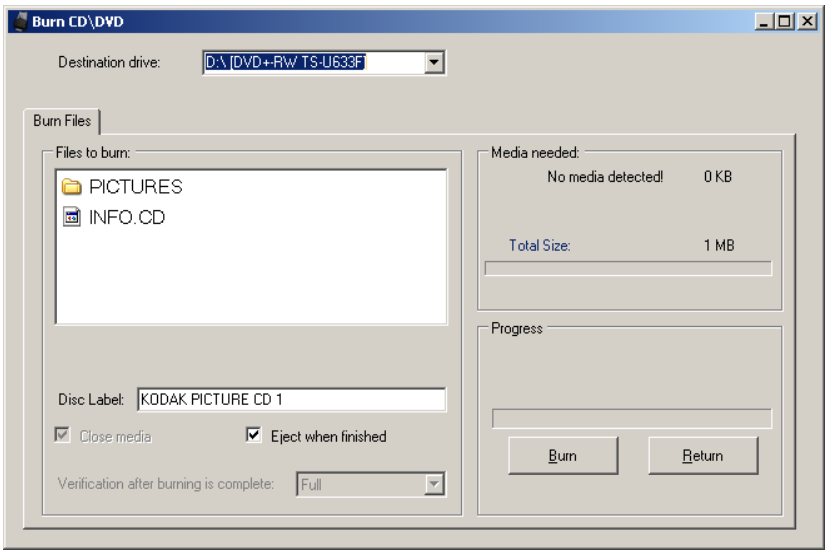
- **完了後にドライブトレイをイジェクトする**：オンにすると、フォーマットの完了後に CD-RW/DVD-RW が自動的にイジェクトされます。
- **簡易フォーマット**：オンにすると、簡易フォーマットプロセスを実行します（選択しないと完全なフォーマットが実行されます）。
- **ディスクのフォーマット**：選択すると書き換え可能なディスクのフォーマットを開始します。ディスクのフォーマットが完了したら、**［CD/DVD にファイルを保存］**タブをクリックしてディスクへの書込みを開始します。

コダックピクチャ CD への書き込み

［CD/DVD 作成］ダイアログボックスが表示されると、そのオーダーをコダックピクチャ CD に書き込めます。各注文のフォルダは、ハードディスク内のオーダーディレクトリ（デフォルトは C:￥Scanned_Pictures）に残ります。

注： 注文のサイズが大きくて 1 枚の**コダック**ピクチャ CD に入らない場合は、注文が複数のメディアに分割され、FD_01、FD_02 のようにラベル付けされます。

［CD/DVD にファイルを保存］タブ

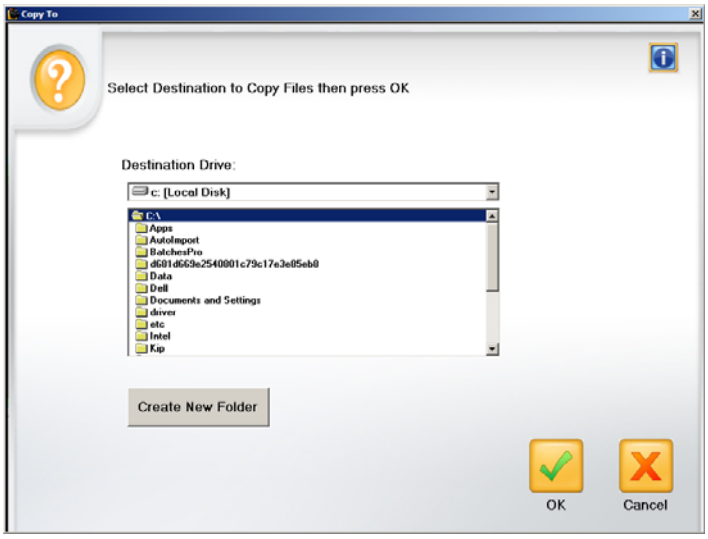


- **保存先ドライブ**：画像を書き込むメディアとして CD/DVD ドライブを選択できます。［コダックピクチャ CD 作成］のメディアには、コダックピクチャ CD を使用します。
- **CD/DVD に保存するファイル**：完了した注文が 1 枚のコダックピクチャ CD に収まる場合、デフォルトはフォルダ FD-01 に設定されます。複数のメディアが必要な場合は、注文に含まれる各フォルダが書き込み時に別々に呼び出されます（FD-01、FD-02 など）。フォルダは￥ PICTURES のコダックピクチャ CD に書き込まれます。

  複数のコダックピクチャ CD が必要な場合は、必要に応じて追加メディアの挿入を要求されます。
- **ディスクラベル**：デフォルトはコダックピクチャ CD に設定され、変更できません。
- **メディアを終了**：オンになっており、オフにはできません。コダックピクチャ CD を処理して、他の PC やサポートされている DVD プレイヤーで再生可能になります。
- **完了後にドライブトレイをイジェクトする**：オンにすると、書き込みの完了時にコダックピクチャ CD が自動的にイジェクトされます。
- **CD/DVD 作成後に確認**：コダックピクチャ CD では、必ず**［完全検証］**に設定されます。
- **CD/DVD 作成 / 戻る**：このボタンをクリックして、CD/DVD の作成を開始またはキャンセルします。進行中の書き込みをキャンセルすると、コダックピクチャ CD を使用できなくなる場合があります。**［CD/DVD 作成］**を選択するとメディアが回転するので、書き込みの開始が遅れる場合があります。
- **戻る**：このボタンをクリックすると、［注文の概要と作成］画面に戻ります。

コピー先

［コピー先］ダイアログボックスが表示され、USB メモリやネットワークドライブなどの別の場所に注文をコピーできます。各注文のフォルダは、ハードディスク内のオーダーディレクトリ（デフォルトは C:￥Scanned_Pictures）に残ります。



注：

- オプションで新規フォルダを作成する場合、**［新規フォルダ作成］**ボタンをクリックして、**［新規フォルダ名］**の下のテキストボックスにフォルダの名前を入力します。
- アルファベット文字、ダッシュ、アンダースコア、スペースが使用できます。

4　写真のスキャン

目次

スキャナーの準備 4-1
写真スキャンの準備 4-3
取扱いのガイドライン 4-5
写真のスキャン 4-6

スキャナーの準備

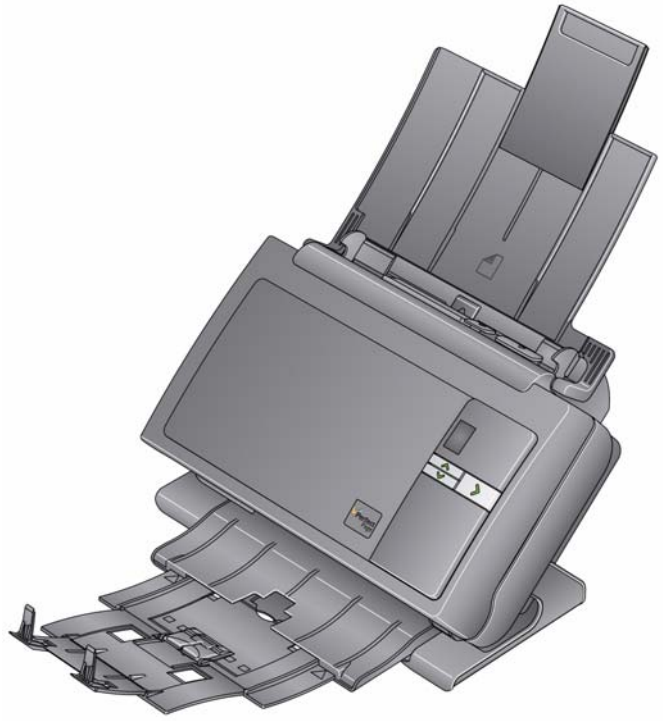
スキャナーは縦 / 横にできますが、横のポジションでスキャンすることをお勧めします。

1. スキャナーの電源が入っており、スキャンの準備が整っている（LED とスタートボタンが緑色で点灯している）ことを確認します。
2. スキャナーを傾けて横ポジションにします。

   重要：チルト機能を使用する場合は、必ず、スキャナーカバーを閉じていることを確認してください。

3. サイドガイド を調整して（外側か内側にスライドさせる）、スキャンする写真のサイズに合わせます。

4. 入力トレイを調整します。原稿に合わせて出力トレイを調整します。



- 出力トレイを伸ばすと、最長 14 インチまでの写真に対応できます。

写真スキャンの準備

1. スキャンする写真は、先端を揃えて、入力トレイの中央に来るように重ねます。これにより、写真をフィーダから１枚ずつスキャナー内に送り込むことができます。
2. ホチキスやクリップは、スキャン前にすべて取り除いてください。写真がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや写真が損傷を受ける場合があります。
3. スキャンを開始する前に、写真のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
4. スキャンする写真をスキャナーの入力トレイにセットします。スキャンする写真は表面を仰向けにします（以下を参照）。
   - 大量の写真をフィードする際に問題が発生した場合は、最初の 25 枚の写真をトレイにセットして、スキャンを開始し、トレイ内の写真が少なくなったら残りの写真をセットしてください。
   - PS スキャナーでは、スタックの底部を定期的に軽く叩いて、写真が適切にフィードされるようにします。

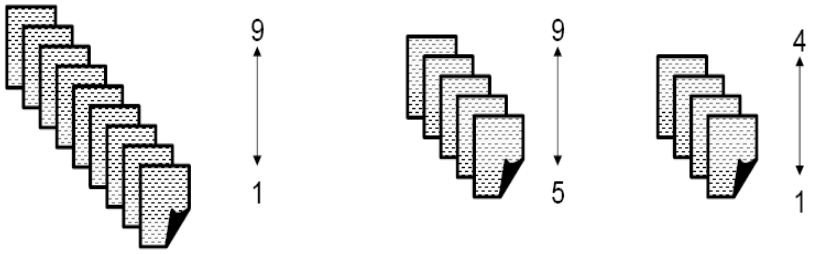
注：写真を特定の順序に保ちたい場合は、以下の手順に従います。

写真の束を持って、表面を伏せてテーブルに置きます。この写真の束の上から最初の束を取り、表面を仰向けにしてスキャナーにセットします。[**バッチスキャン**]を選択します。写真の束のスキャンが完了し、スキャナーが停止したら、別の束をスキャナーにセットして、[**バッチスキャン**]を選択します。この方法を使用する場合、各バッチのスキャン後にスキャナーを停止できなければなりません。そうしないと、写真が意図した順序になりません。

写真	ファイル名
1	XXXX_01.jpg
9	XXXX_09.jpg

または、写真の束を持って、表面を伏せてテーブルに置きます。この写真の束の上から最初の束を取り、表面を仰向けにしてスキャナーにセットします。

9枚の束の場合は、写真1がテーブルに面し、写真9の裏面が束の一番上になるように表面を伏せて写真をセットします。この束の上から5枚(9、8、7、6、5)写真を取り、表面を仰向けにしてセットしてスキャンする場合、スキャナーが空になったら残りの写真(4、3、2、1)の表面を仰向けにしてスキャナーにセットします。



この束のスキャンが完了したら、写真1が画像1に、写真9が画像9になるように、ソフトウェアによって画像ファイルが整理されます。この方法で使用している場合は、スキャン中にスキャナーを停止しないでください。そうしないと、写真が意図した順序になりません。この方法で使用する場合は、トランスポートタイムアウトの値を増やしてください。

取扱いのガイドライン

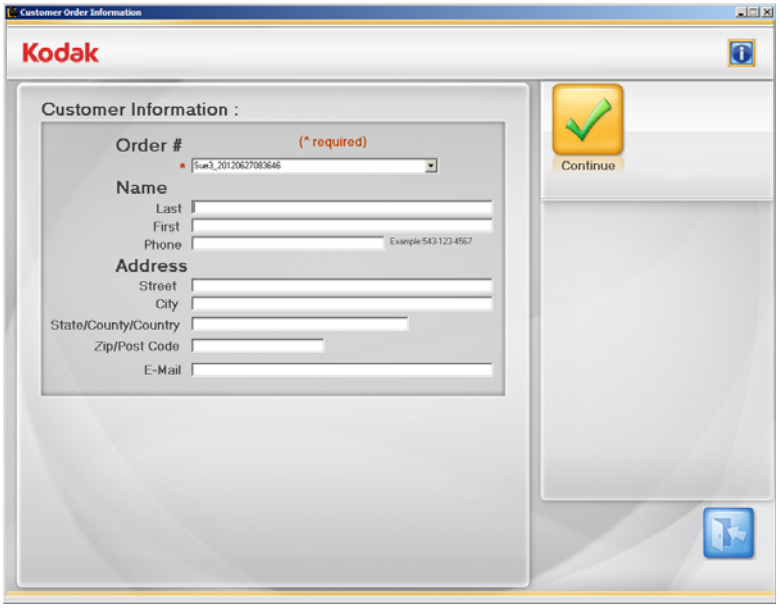
作業効率を向上させるために、写真のバッチをスキャンする前に次のガイドラインを読んでください。写真の取扱い方とスキャナー清掃の重要性については、第6章「*画質の向上*」で詳細を参照してください。

- **写真の取り扱いには注意してください。**手を洗うか、清潔な白い綿手袋をはめてください。写真の表面に触れないでください。
- 脆くなった写真や貴重な写真のスキャンには、*コダック*A3または*コダック* リーガル フラットベッド アクセサリを使用し、自動フィードで破損するリスクを回避してください。
- スキャナーは清潔でほこりのない環境で使用してください。
- 使用していない場合は、スキャナーにカバーをかけてください。
- 写真を不必要に折ったり曲げたりしないでください。
- 著作権保護法により、著作権で保護されたプロによる写真は、所有者の書面による同意なくスキャンすることはできません。
- 写真の両面スキャン：
  - 両面スキャンが必要な写真が何枚かある場合、両面写真は別のバッチにまとめます。これにより、不要な白紙の画像を削除する手間が省けます。
  - 両面写真の片面を再スキャンする場合、再スキャンする面を選択するか、**［両面］**を選択して両面を再スキャンします。
- 色の編集や明度の調整などが必要な写真が何枚かある場合、このような写真は1つのグループにまとめてください。スキャン後に**［コダック Perfect Touch］**を選択すると、ソフトウェアによって画像のフォルダすべてが同時に編集されます。
- ［画像の編集］画面に表示されている16枚の画像のうち1つを削除すると、次の16枚の先頭にある画像が繰り上がって表示されます。
- 600 dpiまたは1200 dpiで［イメージを鮮明にする］を使用すると、著しく処理時間がかかります。このオプションをグレースケール画像に使用するのはお勧めしません。

写真のスキャン

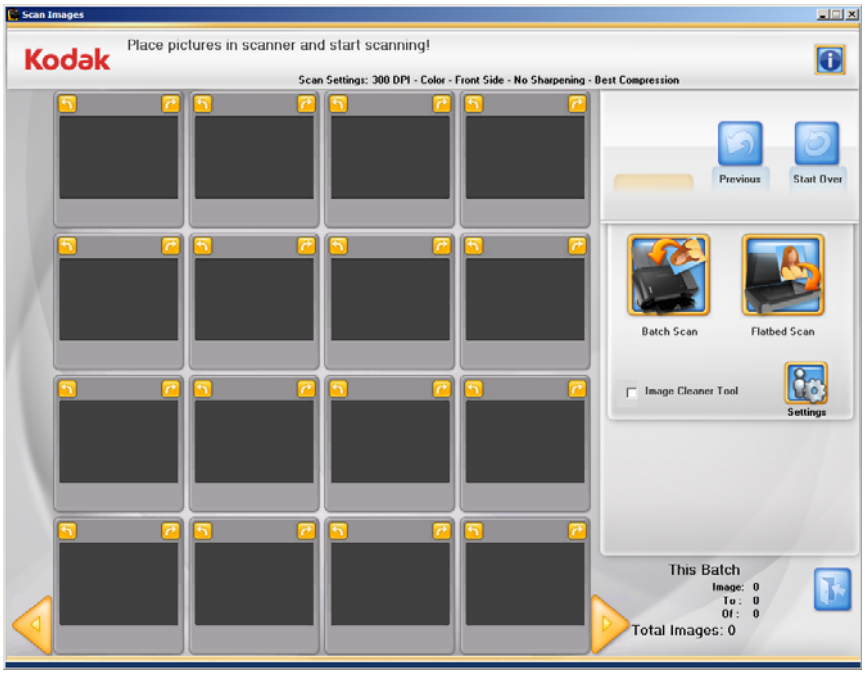
スキャンを開始する前に、ピクチャセーバ システムスキャナーの電源が投入されて準備完了になっており、USB ソフトウェアドングルが PC の USB ポートに挿入されていることを確認してください。

1. デスクトップ上のピクチャセーバ　システムのショートカットをダブルクリックするか、**[スタート] > [プログラム] > [kodak] > [KODAK Picture Saver System] > [Picture Saver System PS50]** を選択します。システムの初期化中、スプラッシュ画面が表示され、その後、［顧客注文情報］画面が表示されます。



2. *[注文番号]* フィールドに 51 文字までの英数字を入力して注文を指定するか、ドロップダウンの矢印をクリックして前回の注文を選択します。このフィールドは入力必須です。
3. 必要に応じて、*姓*、*名*、*電話番号*、*町名*、*番地*、*市*、*都道府県 / 国*、*郵便番号*、*電子メール*に関する情報を、各フィールドに入力します。注文を再度開いた場合は前回入力したデータが自動的に入力され、日付が変更されます。

4. *[続行]* を選択します。[画像のスキャン] 画面が表示されます。注文の中に写真がある場合、[スキャンの完了] ボタンが有効になり、次の画面に進むことができます。



5. （バッチスキャンの場合は）バッチをスキャナーの入力トレイにセットし、（フラットベッドスキャンの場合は）写真を 1 枚だけフラットベッドのプラテンにセットします。スキャンする写真の表面が上になっていることを確認します。

   注：

   - 効率よく写真をフィードするには、必ず、スキャナー本体を横ポジションに傾け、写真表面を仰向けにしてスキャンします（下図参照）。

   - トレイ一番下にある写真からスキャンされます。したがって、特定の順序でスキャンしたい場合は、この章に上述の「写真スキャンの準備」で説明した内容に従って写真をフィードしてください。

6. スキャン後、ピクチャセーバ スキャンシステムで裏面イメージに入った縦縞の除去を試行する場合は、［画像修整ツール］を選択します。
7. デフォルトのスキャン設定（モード、解像度、イメージ最適化、など）を変更する場合は、**［設定］**をクリックします。

   注：注文内でバッチスキャンまたはフラットヘッドスキャンの開始前であれば、いつでも設定を変更できます。

8. **［バッチスキャン］**または**［フラットベッドから］**をクリックします。「***スキャナーのランプをウォーミングアップしています***」というメッセージが表示される場合があります。ランプの準備が完了すると（通常は数秒程度）、スキャンが開始されます。

   注：

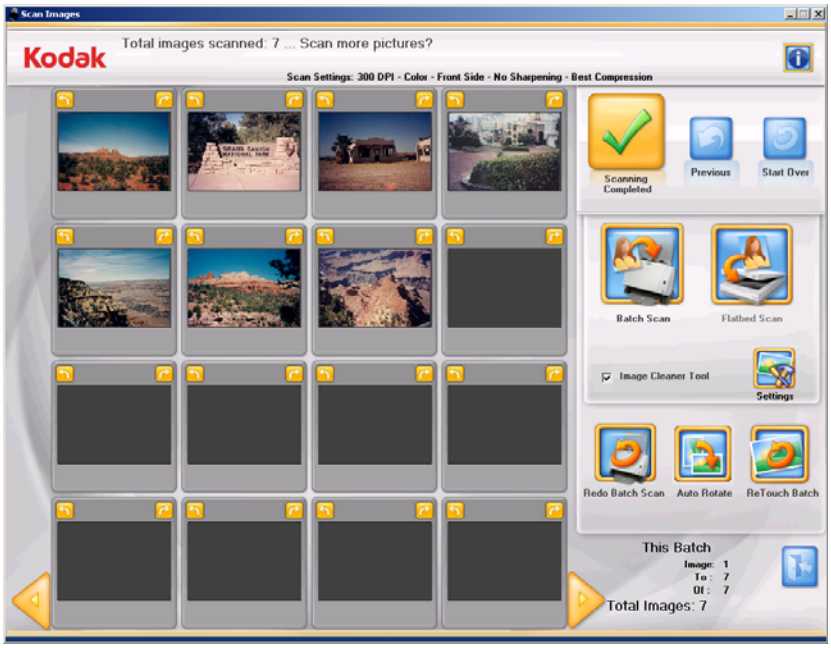
   - オプションのコダック リーガル フラットベッドまたはコダック A3フラットベッドを使用する場合は、必ず、写真を伏せてプラテンに置いてください。
   - **［バッチスキャン］**を選択した場合、トランスポートタイムアウトの値に応じて、1～20 秒以内に写真をピクチャセーバ システムスキャナーにセットします。

   写真をスキャンすると、スキャンした画像が［スキャンビューア］画面に1画面表示されます。

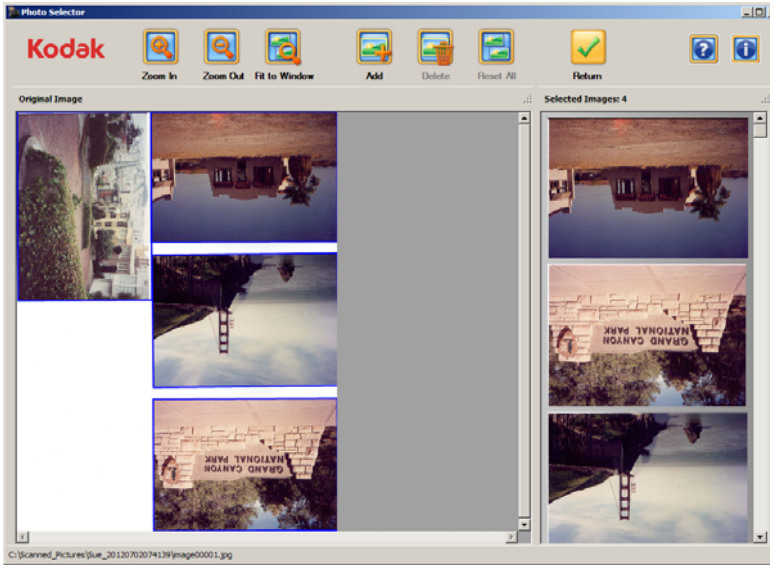
   現在表示されている画像を詳細に確認する場合は［スキャンビューア］画面を一時停止します。スキャナーは停止しません。

   スキャナーを停止するには、フィーダの残りの写真を取り出します。［画像のスキャン］画面に戻ります。

［スキャンビューア］画面を閉じると［画像のスキャン］画面が表示されます。



注：コダックフォトセレクタアクセサリを使用し、フラットベッドを使用して写真をスキャンする場合は、［フォト選択］画面が表示されます。

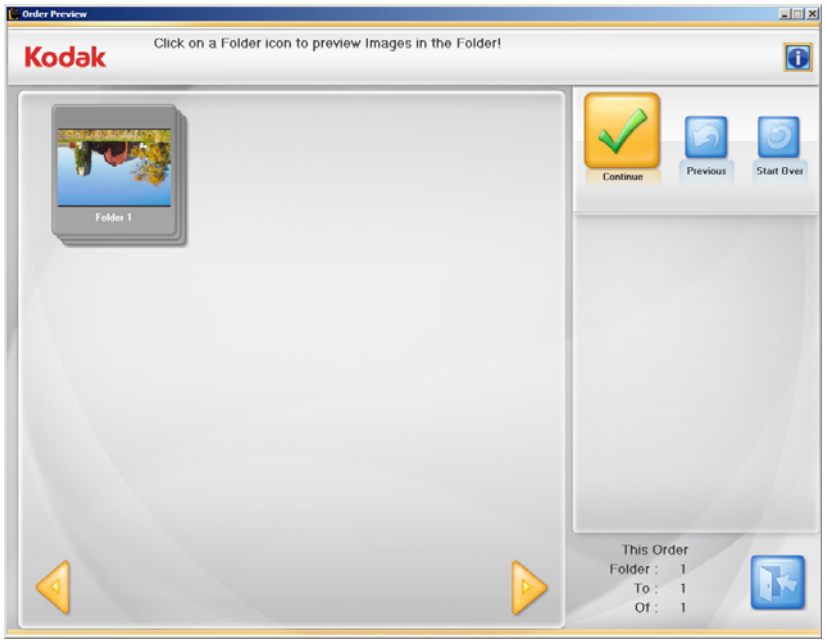


フォトセレクタ アクセサリを使用し、手順 10 に進まない場合は、次の手順に進みます。

9. （修正、削除などの）変更を行う画像を選択します。終了したら、**[戻る]** をクリックします。
   - 以下のショートカットキーが使用できます。
     - Insert キー：[選択したイメージ] ウィンドウに写真を追加します。
     - Delete キー：[選択したイメージ] ウィンドウから写真を削除します。
     - Page Up：ズームアウトします。
     - Page Down：ズームインします。
     - Home：ウィンドウサイズに合わせます。
     - Tab：画像間をスクロールします。
   - [選択したイメージ] 画面で画像をドラッグアンドドロップして並べ替えることができます。
10. 写真に変更を加える必要がなく、現在の注文の写真をすべてスキャンしたら、**[スキャン完了]** をクリックします。
11. さらに写真をスキャンするか、写真を編集する場合などは、以下のオプションが使用できます。
    - この注文で別のバッチをスキャンする場合、入力トレイに追加の写真をセットして、**[バッチスキャン]** をクリックします。
    - A3 またはリーガル フラットベッド アクセサリを使用して写真を 1 枚ずつスキャンする場合は、フラットベッドに写真をセットし、**[フラットベッドから]** をクリックします。
    - 必要に応じて、表示された画像ごとに回転の矢印を使用するか、**[自動回転]** を選択して、画像が正像になる様に修正します。このオプションは顔を含む写真で機能するので、場合によっては手動で回転する必要があります。
    - スキャン済みのバッチ内で、カラーでスキャンしたすべての画像の色、コントラスト、明度などを編集する場合は、**[コダック Perfect Touch]** をクリックします。
    - フラットベッドやバッチスキャンした画像を再スキャンして置き換える場合は、対象の写真を入力トレイかフラットベッドに戻し、**[バッチのスキャンをやり直す]** または **[フラットベッドスキャンのやり直し]** をクリックします。再スキャンした画像は前回のバッチと同じ画面に表示されます。
    - 画像を個別に編集する場合は（回転、削除、コダック Perfect Touch など）、編集する画像をクリックします。[画像の編集] 画面が表示されます。

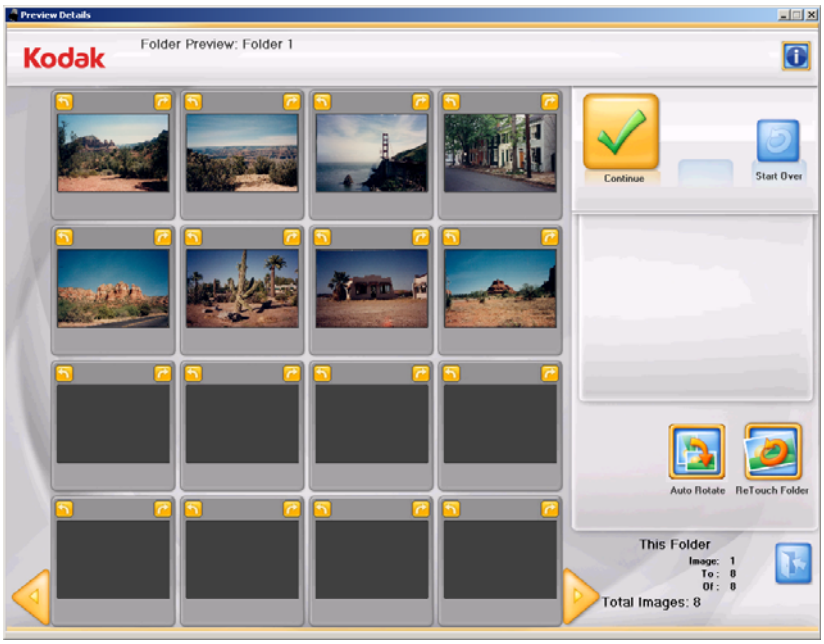
- ［スキャンのやり直し］を使用すると、重送画像を複数の写真の画像に置換できます。

12. 目的の編集の完了後、**［スキャン完了］**をクリックします。「***この注文のスキャンは完了しましたか？***」というメッセージが表示されます。
13. **［はい］**をクリックします。［注文のプレビュー］画面が表示されます。



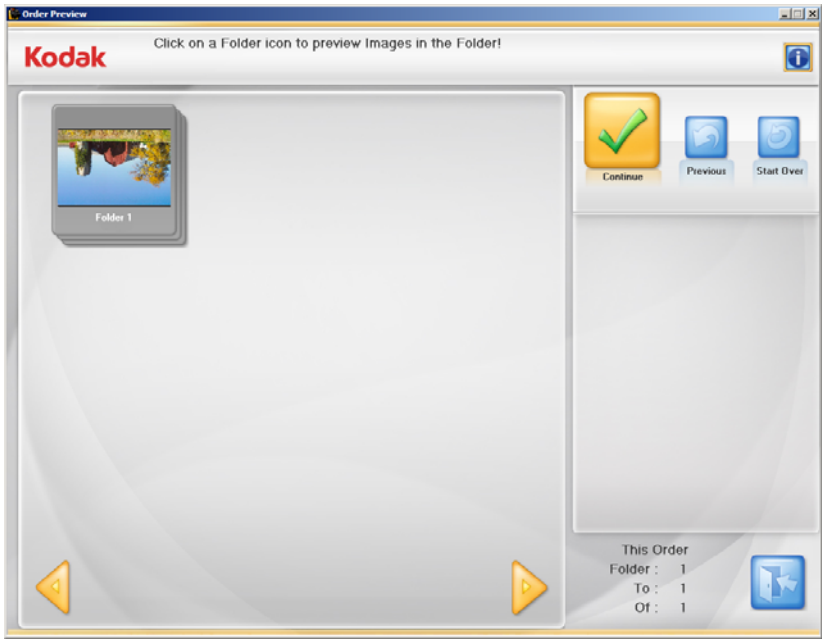
14. プレビューするフォルダを選択します。

［詳細のプレビュー］画面が表示されます。



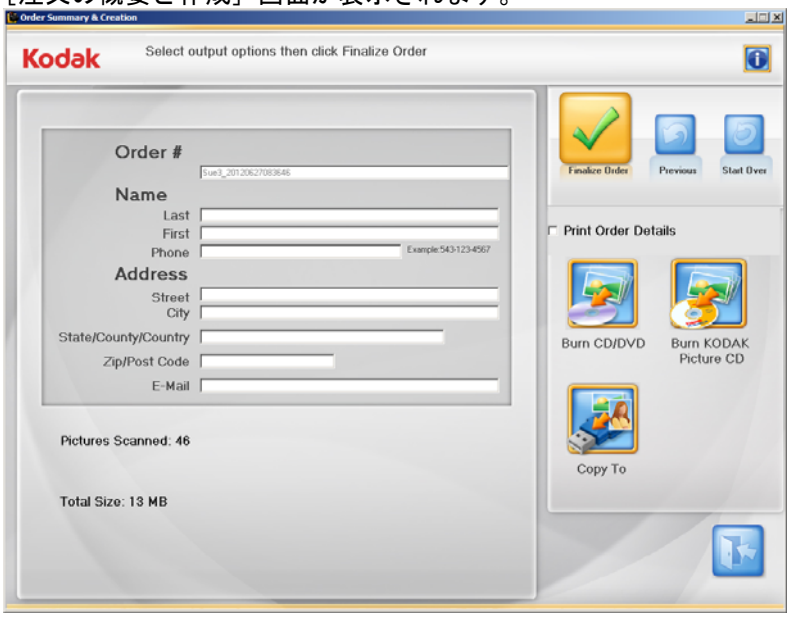
15. ［詳細のプレビュー］画面では、最終的な変更処理が可能です。完了したら、**［続行］**をクリックします。

［注文のプレビュー］画面が表示されます。



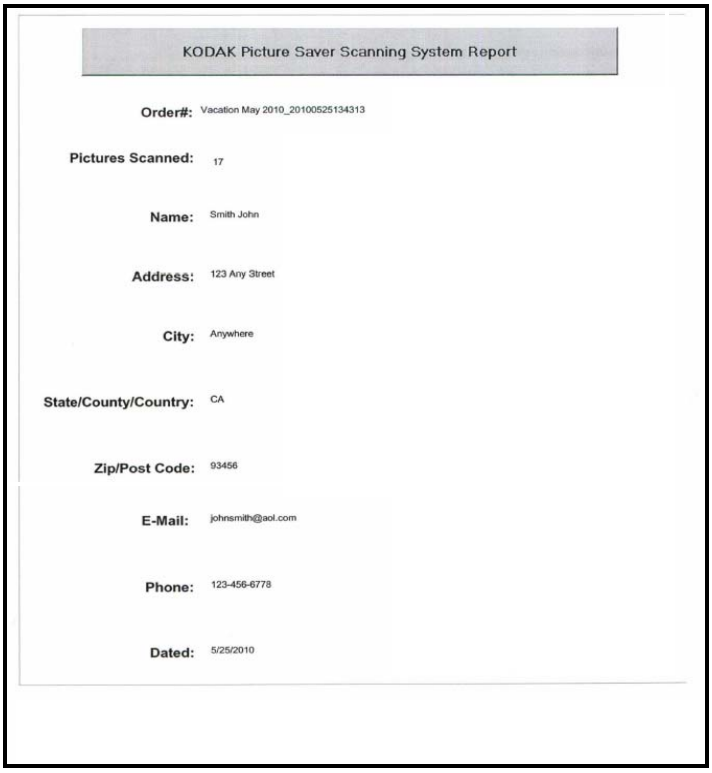
16. 注文処理の完了前にフォルダの内容を確認する場合は、対象のフォルダを選択します。確認しない場合は、**［続行］**をクリックします。

［注文の概要と作成］画面が表示されます。



17. 注文の概要に表示されている情報が十分であることを確認します。必要に応じて顧客情報を編集してください。
18. 画像ファイルを目的のメディアに出力します。
    - データの CD または DVD を作成する場合は、**[CD/DVD 作成]** をクリックして［CD/DVD 作成］画面で選択を行います。
    - コダックピクチャ CD を作成する場合は、**[コダックピクチャ CD 作成]** をクリックして［CD/DVD 作成］画面で選択を行います。
    - 注文を他の場所にコピーしたい場合は、**[コピー先]** をクリックして任意のコピー先を選択します。

19. 注文の概要を印刷する場合は、**[注文を仕上げる]** をクリック時に **[注文明細の印刷]** チェックボックスにチェックマークを付けます。[印刷] ダイアログボックスが表示され、注文の概要を印刷できます。



完了すると、「***コダック ピクチャセーバ システムの新しいスキャンセッションを始めますか？***」というメッセージが表示されます。

新しいスキャンセッションを開始する場合は、**[はい]** をクリックします。または、**[いいえ]** をクリックして、**コダック** ピクチャセーバ システム ソフトウェアを終了します。

インストール時にデフォルトを変更しないかぎり、各オーダーのフォルダは **C:￥Scanned_Pictures** の下に入ります。これらの画像は、（写真管理システムへのアップロード、CD/DVD への書き込み、印刷、E メールでの送信など）様々な用途に使用できます。

注文が確定したら、その注文に関する情報を記録した .xml ファイルが作成されます。この .xml ファイルは、スキャン画像ディレクトリ内のオーダーフォルダに保存されます。

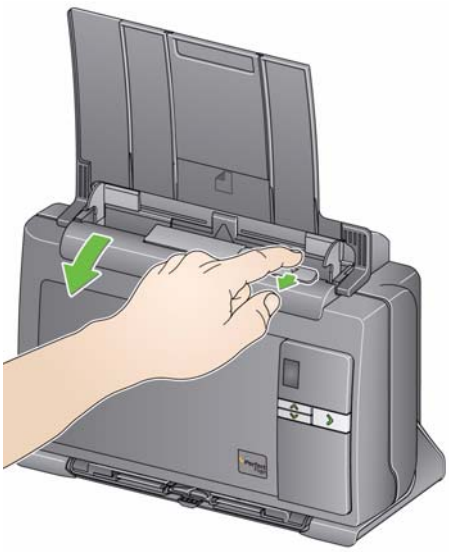
5 メンテナンス

目次

スキャナーカバーの開け方 5-1
清掃手順 5-2
ローラの清掃 5-2
セパレーションモジュールの清掃 5-3
フィードモジュールの清掃 5-4
スキャナーの掃除 5-5
イメージングガイドの清掃 5-6
トランスポートクリーニングシートによるクリーニング 5-6
交換手順 5-7
セパレーションモジュールタイヤの交換 5-7
プリセパレーションパッドの交換手順 5-9
フィードモジュールタイヤの交換 5-10
プリセパレーションローラのテンションの調整 5-12
アクセサリと消耗品 5-12

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーカバーを開く前に、入力トレイが開いた状態であることを確認します。
2. スキャナーカバーのリリースレバーを押しながらスキャナーカバーを開きます。



3. スキャナーの清掃や部品の交換が完了したら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

清掃手順

スキャナーは定期的に清掃する必要があります。写真がうまく搬送できなくなったり、複数の写真が重送したり、画像に縦縞が入る場合は、スキャナーを清掃する必要があります。この章の終わりの「消耗品」には、スキャナーの清掃に必要な消耗品リストを示しています。

重要：パーツサービスから購入したクリーナなど、不燃性のクリーナを使用してください。家庭用クリーナは使用しないでください。

使用する前に、室温になるまで面を冷ましてください。高熱面にクリーナを使用しないでください。

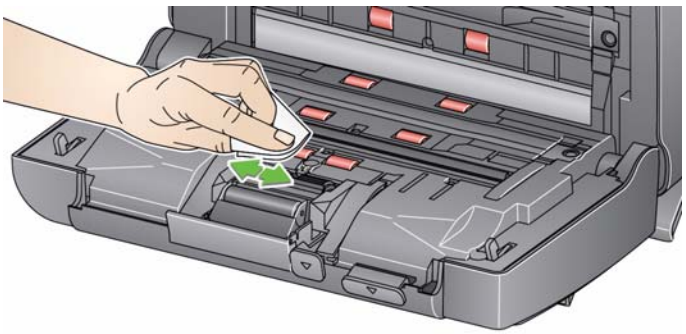
換気をしてください。狭い場所でクリーナを使用しないでください。

注：

- 清掃を始める前に、電源を切ります。
- メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。

ローラの清掃

1. スキャナーカバーを開きます。
2. ローラクリーニングパッドを使って、フィードローラを磨くように拭きます。フィードローラを回しながら、全面を清掃します。



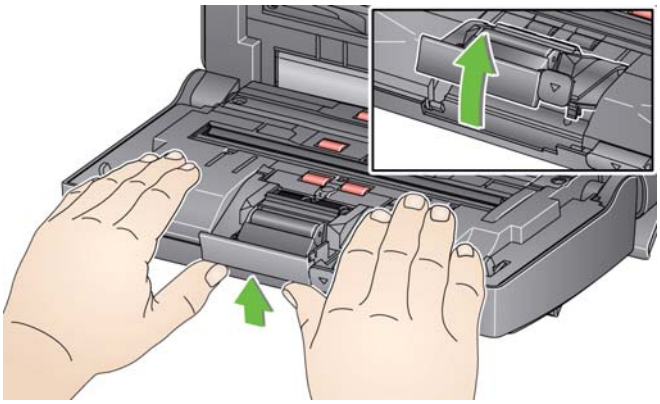
重要：ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。

3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

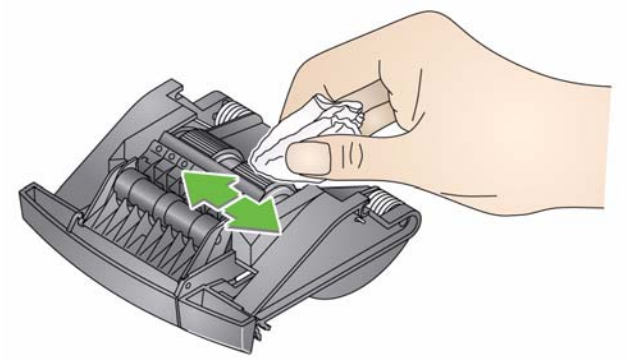
セパレーションモジュールの清掃

スキャナーからセパレーションモジュールを取り外してから清掃すると効率が良いでしょう。

1. セパレーションモジュールを押し上げて取り外します。



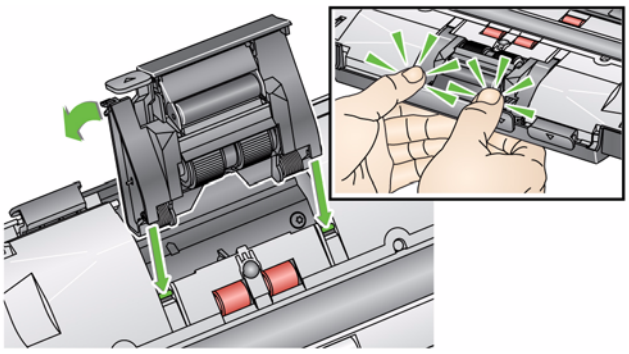
2. セパレーションモジュールタイヤを回わしながらローラクリーニングパッドで拭きます。



3. セパレーションモジュールを確認します。

   セパレーションモジュールタイヤに消耗や損傷している兆候が見える場合には、セパレーションモジュールを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

4. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

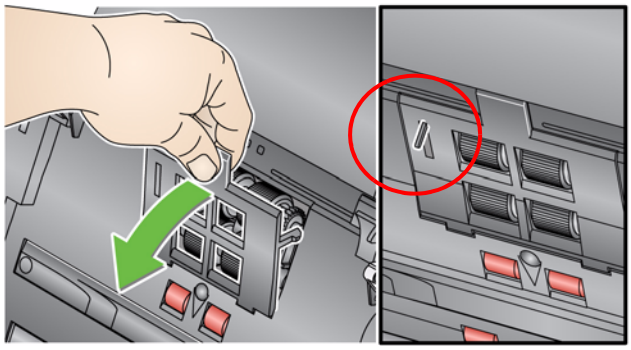


フィードモジュールの清掃

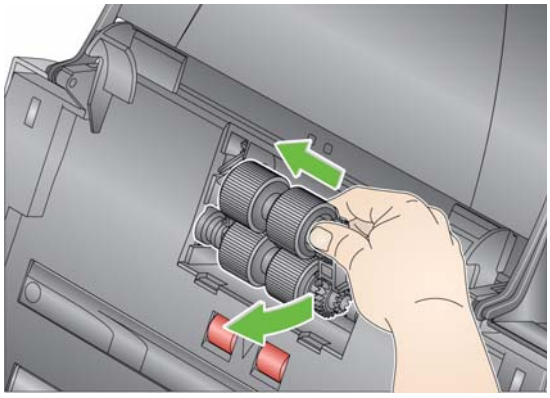
- フィードモジュールを取り外したり、清掃する場合、入力トレイを取り外した方が容易にフィードモジュールに手が届きます。入力トレイを取り外すには、入力トレイの右か左を軽く押しながら、みぞからピンを外し、入力トレイを取り外します。

1. フィードモジュールカバー中央の先端をつまみ、持ち上げながら外します。

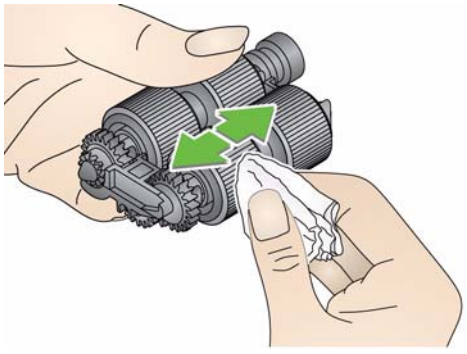
   注：フィードモジュールを外したり、フィードモジュールの周囲を清掃する場合は、用紙センサを傷つけないように注意してください。



2. フィードモジュールを起こし、左側に押込みながら外します。



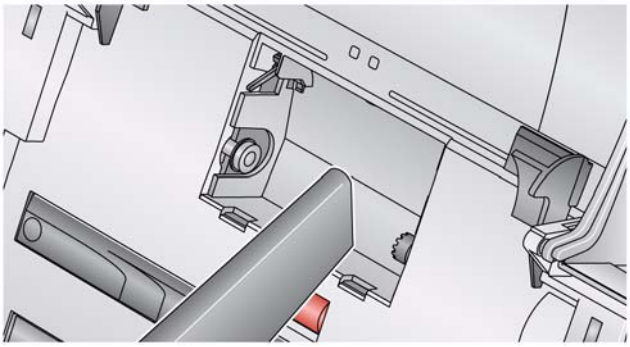
3. フィードモジュールタイヤを回しながら、ローラクリーニングパッドで拭いてください。



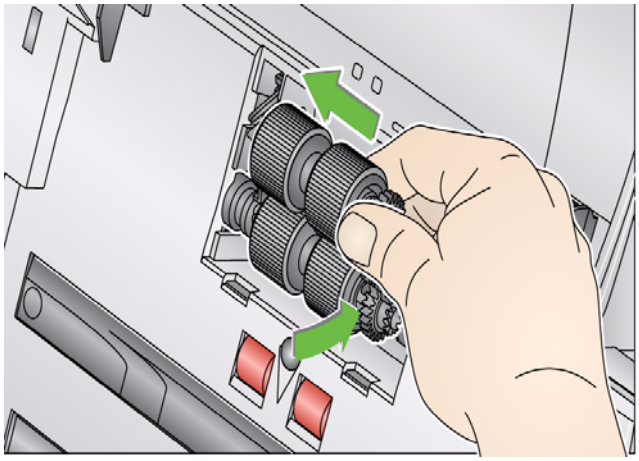
4. フィードモジュールを確認します。

   フィードモジュールタイヤに磨耗や損傷の兆候が見える場合は、タイヤまたはフィードモジュールを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

5. 掃除機やクリーニングパッドを使って、フィードモジュールのゴミやホコリを取り除きます。



6. フィードモジュールのピンを合わせ、左に押込みながら定位置に戻します。歯車が正しくかみ合うように取り付けてください。フィードモジュールを元の位置に戻します。



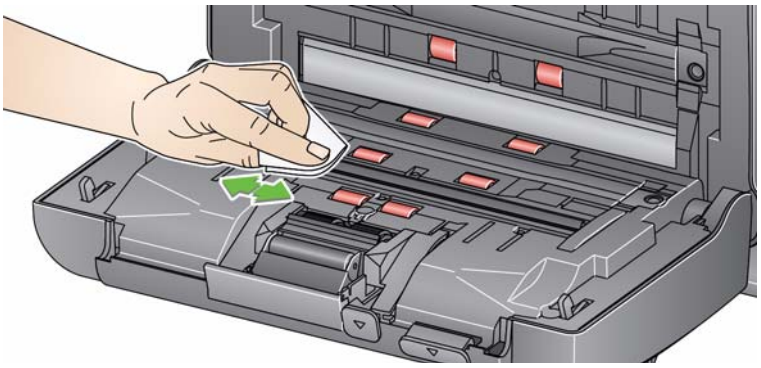
7. タブを溝に合わせてフィードモジュールカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。

スキャナーの掃除

イメージングガイドを清掃する前に、スキャナー内部に掃除機を使って、ゴミやほこりを取り除きます。

イメージングガイドの清掃

1. 上下のイメージングガイドを手順1用のイメージングガイドクリーニングで拭います。イメージングガイドを傷つけないように注意してください。



2. 上下のイメージングガイドを、再度、手順 2 用のイメージングガイドクリーニングで跡を拭い、表面を磨きます。
3. 終了したら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

注：開いているイメージングガイドに空気を吹き込まないでください。静電防止の柄付きブラシを使用して、カメラ内部のミラーをそっと拭いてください。

トランスポートクリーニングシートによるクリーニング

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を外します。
2. クリーニングシートに合わせてサイドガイドを調整します。
3. 入力トレイにトランスポートクリーニングシートを（粘着面を手前に向けて）縦にセットします。
4. スキャン用アプリケーションを使って、トランスポートクリーニングシートをスキャンします。
5. トランスポートクリーニングシートのスキャンが終了したら、裏返して（粘着面が入力トレイに接する）もう一度スキャンします。
6. スキャナーカバーを開き、イメージングガイドを、イメージングガイドクリーニングセットに同梱されている柔らかい布で拭います。
7. スキャナーカバーを両手で閉じます。
8. 画質を確認します。
9. 必要に応じて、この手順を繰り返し、ローラから汚れをすべて取り除きます。

注：クリーニングシートがかなり汚れたら、破棄して新しいシートを使用してください。

交換手順

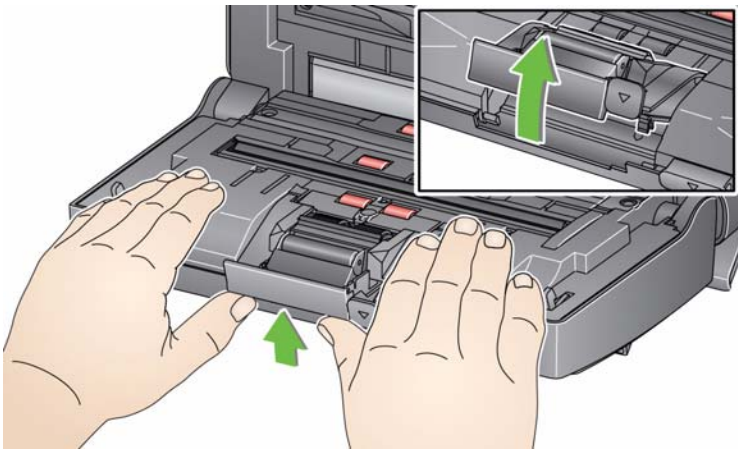
コダックスキャナーは、さまざまな種類、サイズ、厚みの原稿を給紙できる、交換可能なタイヤを使用しています。タイヤの寿命とパフォーマンスは、ご利用の原稿の種類、搬送路とタイヤの清掃の頻度、および推奨するタイヤ交換スケジュールに従っているかどうか、などの条件により異なります。一般的なタイヤ寿命は、約 60,000 ～ 125,000 枚の写真または原稿です。耐用年数については保証されていません。お客様の運用環境、原稿の種類、スキャン対象写真の状態、および推奨する清掃／交換手順の遵守状況によって、消耗品の寿命は異なります。後述する清掃手順に従って作業を行っても、重送、紙詰まり、フィーダ処理能力の低下などの問題が頻発する場合は、タイヤを交換してください。

注：

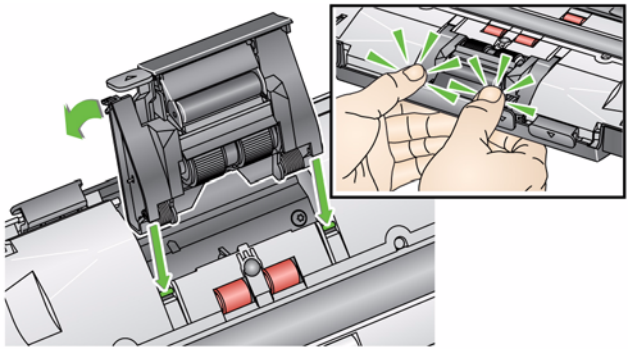
- 交換の前に、電源を切ります。
- 特定の用紙タイプ（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、清掃を定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラの寿命が短くなることがあります。

セパレーションモジュールタイヤの交換

1. セパレーションモジュールを押し上げて取り外します。



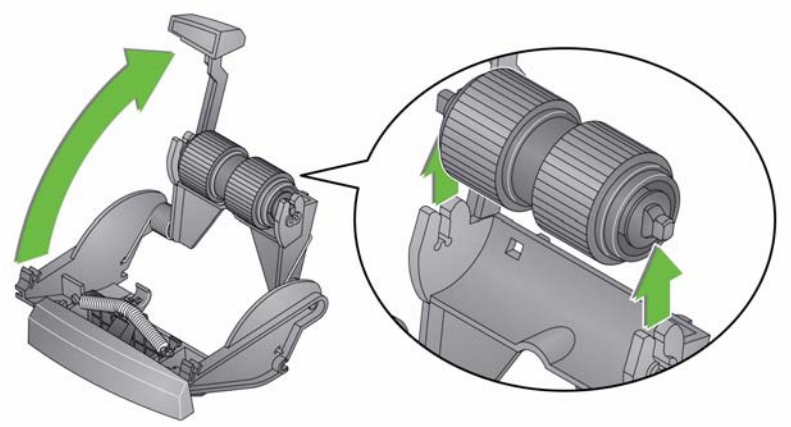
- セパレーションモジュールを交換する場合、新しいセパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。



- タイヤを交換する場合は、手順 2 に進んでください。

2. セパレーションモジュールを持ちながら、リリースレバーを後に回し、セパレーションローラを取り出します。

注意：リリースレバーにはスプリングが付いているので､正しく保持しないと跳ね返るおそれがあります。充分に注意してください。

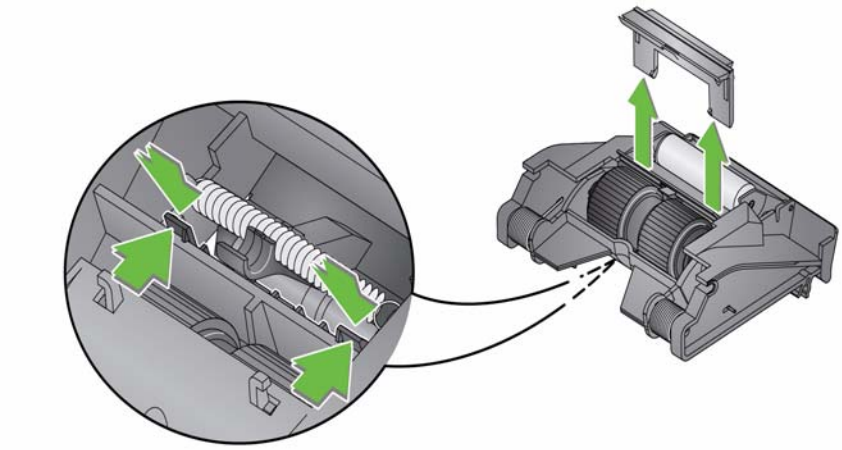


3. セパレーションモジュールからセパレーションローラを取り外します。
4. 各タイヤを軸から外します。
5. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。
   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。破損する場合があります。
6. セパレーションローラを元の位置に取り付けます。正しい位置にセパレーションローラを取り付けてください。
7. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

プリセパレーションパッドの交換手順

オプションで、コダック ピクチャセーバ システム スキャナーにドキュメントセパレーションモジュールがある場合、またはプレセパレーションパッドを取り付け / 交換が必要な場合は、次の手順に従います。

1. 「セパレーションモジュールタイヤの交換」で説明されている手順に従って、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外します。
2. 両手でセパレーションモジュールを持ち、セパレーションモジュールの後部からわずかに出ている、2 つのサイドタブを確認します。
3. サイドタブを、プリセパレーションパッドがセパレーションモジュールの前面から少し出るまで押し出します。
4. プリセパレーションパッドをつまみ、セパレーションモジュールから引き出します。

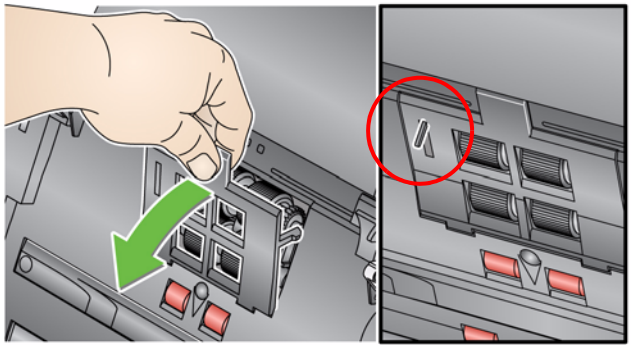


5. 使用済みのプリセパレーションパッドを破棄します。
6. 新しいプリセパレーションパッドのサイド タブと、セパレーションモジュールの溝を合わせます。
7. プリセパレーションパッドがセパレーションモジュールタイヤに軽く付くまで、しっかりと押し込みます。
8. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

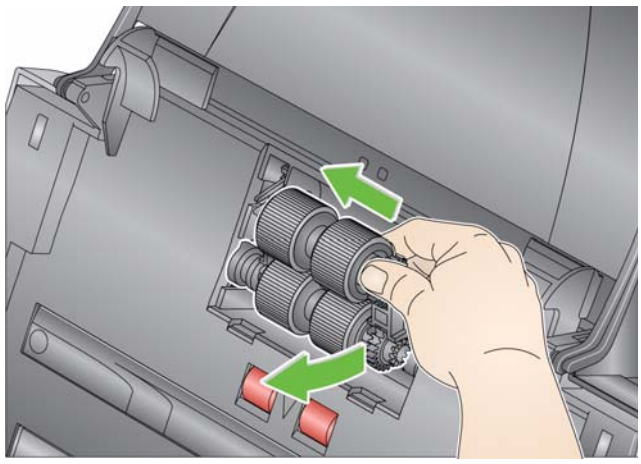
フィードモジュールタイヤの交換

1. フィードモジュールカバーの突き出ている先端をつまみ、カバーを引き上げて取り外します。

注：用紙センサはフィードモジュールの左側にあります。フィードモジュールを外したり、フィードモジュールの周囲を清掃する場合は、用紙センサを傷つけないように注意してください。

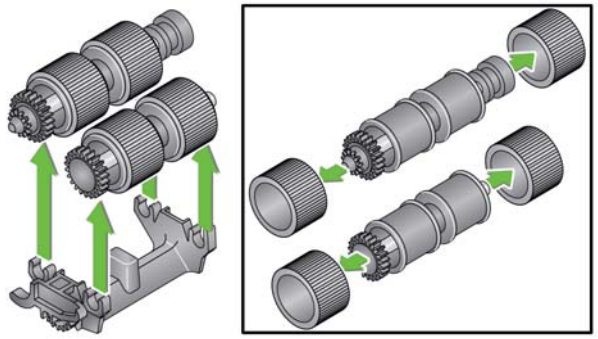


2. フィードモジュールを起こし、左側に押込みながら外します。



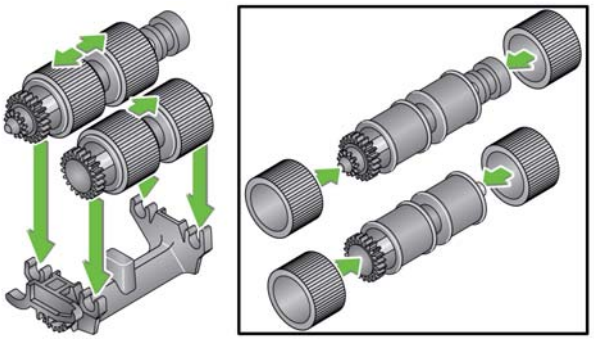
- フィードモジュールを交換する場合、新しいフィードモジュールピンを合わせ、左に押し込みながら定位置に収めます。ギアが正しい位置にはめ込まれていることを確認し、ステップ 5 に進みます。
- タイヤを交換する場合は、手順 3 に進んでください。

3. 各コアアセンブリを持ち上げて取り外し、コアアセンブリから各タイヤをスライドさせて取り外します。



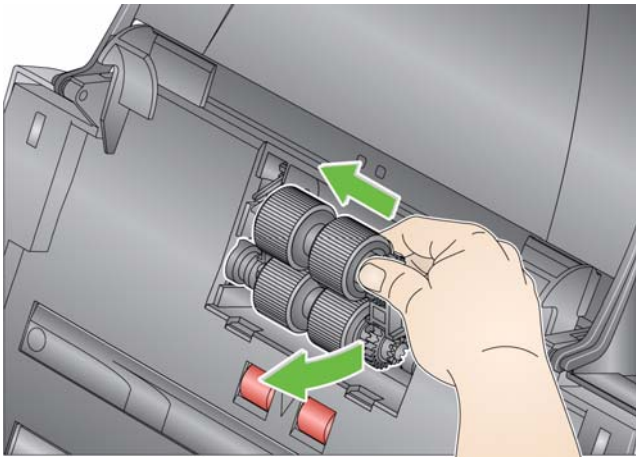
4. 新しいタイヤをそれぞれコアにゆっくりと差し込み、フィードモジュールのコアアセンブリを交換します。

   注： フィードモジュールを正しく取り付けるために、シャフトを右か左にずらす必要がある場合もあります。



   重要： タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

5. フィードモジュールのピンを合わせ、左に押込みながら定位置に戻します。歯車が正しくかみ合うように取り付けてください。フィードモジュールを元の位置に戻します。

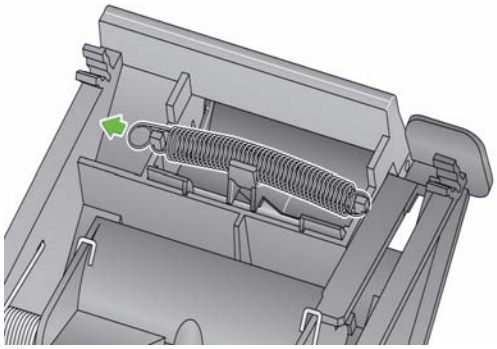


6. タブを溝に合わせてフィードモジュールカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。

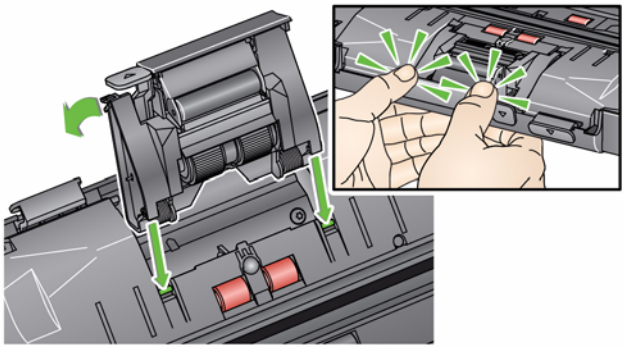
プリセパレーションローラのテンションの調整

重送または原稿詰まりが発生している場合は、プリセパレーションローラのテンションを調整する必要があります。

1. 「セパレーションモジュールタイヤの交換」で説明されている手順に従って、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外します。
2. セパレーションモジュールのスプリングがあります。
3. このバネをホルダから持ち上げて左か右に動かし、テンションを調整します。



4. 完了したら、セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。



アクセサリと消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

説明	カタログ番号
コダックフィードローラ（12 個入り）	148 4864
コダックジェントルフォトセパレーションモジュール	169 5097
コダックピクチャセーバ標準セパレーションモジュール	196 0426
コダックローラクリーニングパッド（24 枚入り）	853 5981
コダックトランスポートクリーニングシート（50 枚）	169 0783
コダックスキャナー用イメージングガイドクリーニングセット	826 6488
コダックリーガルフラットベッドアクセサリ	119 9470
コダック A3 フラットベッドアクセサリ	818 2271

注：商品と CAT 番号は、変更される場合があります。

6　画質の向上

目次

スキャン環境 6-1
写真の取扱い 6-1
スキャナーの清掃 6-3
写真スキャン 6-4
縦縞を減らす 6-4
バンディング 6-5

スキャン環境

泥やほこりは、デジタル画像に縦縞が出るなど、写真スキャンに支障をきたす場合があります。また、スキャン中やスキャン後に写真に傷が付く原因となる場合もあります。

下記の推奨事項に従って、スキャン環境をできる限り清潔に保ってください。

- スキャナーとその周辺に頻繁に掃除機をかけます。
- スキャン環境から泥やほこりをできる限りなくします。スキャナー周辺のほこりを払う際には注意してください。不注意にほこりを払うと、他の周辺部にほこりを広げてしまいます。
- スキャナーを使わないときは、ダストカバーをかけてください。ダストカバーをスキャナーから外す際、カバーにほこりが積もっている場合は、注意深くカバーを外し、スキャナーから離れた場所でほこりを振り払ってください。
- スキャナーは、相対湿度が少なくとも 50 パーセント以上の場所で使用してください。環境が乾燥していると、ほこりの蓄積を促進する静電気が発生します。

写真の取扱い

スキャンの前に、写真がきれいなことを確認してください。汚れた写真をスキャンすると、スキャナーに泥やほこりがさらに蓄積する可能性があります。スキャナーに蓄積する泥やほこりを最小限にし、画像に縦縞が出ないようにするには：

- **手袋をはめる** - 写真を取り扱う際に綿の手袋をはめると、手の皮脂が写真に付かなくなるため、スキャナー内に蓄積する汚れを最小限に抑えられます。
- **写真をきれいにする** - 古くてほこりの付いた写真は、慎重に掃除機などでほこりを吸い取ります。また、写真をきれいにするには、マイクロファイバーの布巾（イメージングガイドクリーニングセットに添付されている布）や写真屋などで入手可能な同類のワイプが使用できます。繊維くずや研磨剤が無く、非常にやわらかい使い捨ての布です。乳剤面、光学製品、スキャナー、CD に使用しても安全です。ほこりの除去は、元の写真に傷を付けない方法で実施してください。

- **接着剤** - 写真に付いた糊やアルバムに関連する粘着物は、スキャナーのイメージングガイドに付着する可能性があります。それらの粘着物は適切なクリーナで除去してください。粘着物の付いた写真はコダックの A3 またはリーガルフラットベッドアクセサリでスキャンすることで、スキャナーに粘着物がたまるのを防ぐこともできます。
- **写真の曲がりを直す** - 著しくカールした写真は、スキャナーに通らない場合があります。可能な場合は、スキャンの前に写真のカールを安全な方法で直してください。

  注： カールがひどい写真は、方向を 90 度変えて、カールと搬送の方向が一致しないようにするか、コダックA3/ リーガルフラットベッドアクセサリでスキャンします。

- **写真をほぐす** - 確実に搬送させるため、スキャン前に写真の束をほぐします。

- スキャンする写真の束の一番上には、必ず無地のトップシートを置いてください。このトップシートにより、直前の写真がスキャナー内に送りこまれるときのタイヤ跡が一番上の写真に付かなくなります。このトップシートは写真とともにスキャンされるので、このシートに顧客情報を記入することをお勧めします。
- スキャンする写真の端が曲がったり折れ曲がっていると、紙詰まりが発生したり、写真が破れる原因になります。このような写真は、表を下にするか、コダックフラットベッドアクセサリを使用してスキャンすることをお勧めします。

スキャナーの清掃

最良のスキャン結果を得るには、規定の***綿密な***清掃手順のほかに、***簡単な***清掃を頻繁に行うことをお勧めします。このレベル（簡単な）の清掃は、100 プリント毎、または画像に線が出る度に、実行できます。清掃手順の詳細については、第5章「**メンテナンス**」を参照してください。

簡単な清掃：

1. スキャナーカバーを開き、イメージングガイドを調べて、目立つチリの粒子がないか確認します。
2. イメージングガイドをマイクロファイバクロスで拭い、チリの粒子を除去します。
3. ガラス部を拭った後、まだチリの粒子が残っていないかどうか再度確認します。
4. スキャナーカバーを閉じ、その後のスキャン結果を確認します。線などの問題が残っている場合は、さらに綿密な清掃が必要でしょう。綿密な清掃：
   - イメージングガイドクリーニングセットでイメージングガイドを拭います。これはアルコール成分無しの優れたクリーナです。ウェットタイプの帯電除去ワイプとドライタイプのシリコンベースポリッシュの 2 種類を使って、スキャナーをクリーンな帯電防止仕上げにします。
   - トランスポートクリーニングシートをスキャナーに通して、（特にローラ上に）ついているチリの粒子を取り除きます。スキャナーの汚れ具合にもよりますが、このシートは数回使用できます。クリーニングシートがかなり汚れた場合は廃棄してください。
   - 清掃の詳細については、第 5 章を参照してください。

写真スキャン

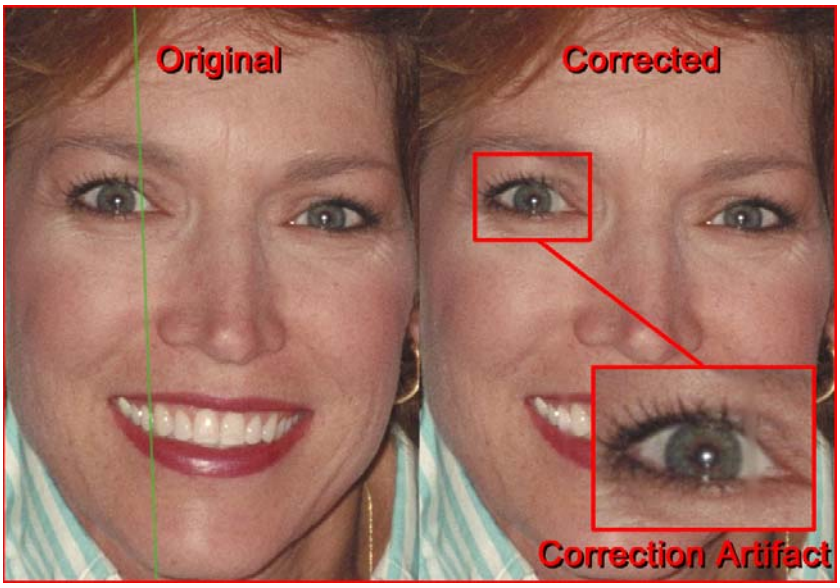
最良のスキャン結果を得るには：

- 写真は、表面を仰向けにして入力トレイにセットしてください。これにより、プリントエマルションへの擦り傷を最小限に抑えることができます。
- *Kodak* ピクチャセーバシステムスキャナーは、*Kodak* ピクチャセーバジェントルセパレーションモジュールと、プリセパレーションパッドがアンインストールされた状態で出荷されます。写真、特に曲がった写真のフィード時に問題が発生した場合は、プリセパレーションパッドまたは*コダック* ピクチャセーバ標準セパレーションモジュールを取り付けます。プリセパレーションパッドの取り付け手順については、第5章「*メンテナンス*」の「プリセパレーションパッドの交換手順」を参照してください。セパレーションモジュールの交換手順については、第5章の「セパレーションモジュールとタイヤの交換」も参照してください。

重要：プリセパレーションパッドを取り付けて写真をスキャンする場合は注意が必要です。弊社のテストでは、プリントにかすり傷が付くリスクが高いことが判明しています。

線を減らす

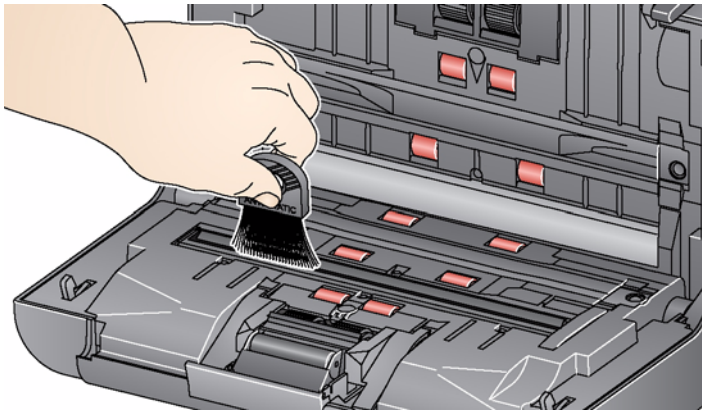
コダック ピクチャセーバ スキャンシステムのソフトウェアは、画像上の縦スジの発生を抑制する機能が強化されています。*コダック* ピクチャセーバ スキャナーは、表面のイメージングガイドが開くように設計されています。ピクチャセーバ スキャンシステム ソフトウェアには、画像の裏面用に**画像修整ツール**というオプションがあります。このオプションを選択すると、スキャナーに蓄積したほこりにより発生するスキャンした画像への縦縞の除去が試行されます。修正の痕跡は、まったく識別できないか、ほとんど識別できません。ただし、線のサイズと線の存在する画像コンテンツによっては、若干目に付く修正痕が残る場合があります。この修正痕は、実際の線より好ましい場合がほとんどです。



縦縞の監視 - ［スキャンビューア］画面の画像から縦縞が検出された場合は、フィーダの写真の残りを取り出し、スキャナーを停止します。写真のスキャンは少量のバッチ（約 50 枚）で行い、必要に応じて画像を再スキャンすることをお勧めします。

画像に縦縞が引き続き現れる場合は、スキャナーのイメージングガイド部を開いて清掃してください。

静電防止ブラシ（次の図のようなブラシ）を使用して、イメージングガイド部にそっとブラシをかけ、塵やゴミを取り除きます。



イメージングガイドクリーニングを使用して、閉じたイメージングガイドを清掃します。

バンディング

バンディングは、写真が横方向に曲がった状態で、スキャナーを通過する際に発生することがあります。曲がった写真の画像に横方向の縞が出る場合は、写真を 90 度向きを変えて写真が搬送方向に曲がらない様にしてください。これにより、バンディングを最小限に抑えることができます。

注：写真上部の明るい箇所へのバンディングを抑えるには、写真を*上側*から搬送してください。

上

スキャンする写真の束の一番上には、常に無地のトップシートを置いてください。このトップシートにより、バンディングが減少し、トップシートの直前の写真がスキャナー内に送りこまれるときのタイヤ跡が一番上の写真に付かなくなります。このトップシートは写真とともにスキャンされるので、このシートに顧客情報を記入することをお勧めします。

7　トラブルシューティング

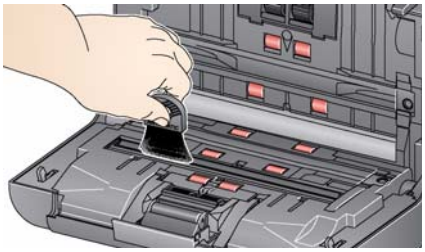
目次

問題の解決 7-1
インストールに関する問題 7-3
アプリケーションに関する問題 7-3
他のアプリケーションとの競合 7-3
アプリケーションの設定 7-4
データの削除 7-5
エラーコード 7-6
LED コード 7-10
ログファイル 7-10
連絡先の情報 7-10

問題の解決

スキャナーが正しく機能しない場合は、以下のチャートを参照して、テクニカルサポートに問い合わせる前にご自分で問題を解決できるか確認してください。

問題	解決方法
写真の紙詰まりが発生する。または写真が重送する。	以下の点を確認してください。 • サイドガイドが、スキャンする写真の幅に合わせて調節されている。 • 出力トレイが、スキャンする写真の長さに合わせて調節されている。 • すべての写真が、付録 A「*仕様*」に記載されたサイズ、重量、タイプと一致している。 • スキャナーとタイヤが正しく清掃されている。 • プリセパレーションモジュールのスプリングのテンションが適切に調整されている。手順については、第 5 章「*メンテナンス*」を参照してください。 • フィードモジュールとプリセパレーションモジュールが正しく設置され、しっかり固定されている。手順については、第 5 章「*メンテナンス*」を参照してください。 • 写真は、静電気により付着することがある。写真の束をほぐして付着をなくし、充分な湿度環境を確保してください。 *重要：　カバーを開く前に、必ず入力トレイが上になっていることを確認してください。スキャナーカバーを開く前に、紙詰まりした写真をスキャナーから引っ張り出さないでください。* • スキャナーカバーを開きます。 • 詰まっている写真をスキャナー内部から取り出します。 • スキャナーカバーを両手で閉じ、スキャンを再開します。

問題	解決方法
スキャナーが写真をスキャンしないか、スキャナーに写真が送り込まれない。	以下の点を確認してください。 • スキャナー後部とコンセントに電源コードがしっかりと接続されている。 • 電源の緑色の LED が点灯している。 • 電源スイッチがオンになっている。 • 電源コンセントに問題がない（資格のある電気技術者にお問い合わせください）。 • ソフトウェアのインストール後に PC を再起動している。 • 写真がフィードローラに接触している。 スキャナーを上向きの位置で、数枚の写真をフィードし、搬送しない場合は、下の方の写真を扇状にほぐして付着をなくし、フィードローラが最初の原稿をつかんでフィードプロセスを開始できるようにします。または、チルトボタンでスキャナーを横ポジションにします。
アプリケーションの表示ウィンドウや画面がゆがむ。	ディスプレイの［表示プロパティ］の解像度設定を確認します。Normal（32 ビットカラーで 96 dpi）に設定されている必要があります。
画像が表示されない。	• スキャンする面が（入力トレイの方でなく）上向きになっていることを確認します。詳細は第 4 章「*写真のスキャン*」の「写真スキャンの準備」を参照してください。
画像が正しくクロップされない。	• 画像がバッチスキャナーから正しくクロップされていません。スキャンする写真の幅に合わせてサイドガイドを調整し、再スキャンします。 • 画像がフラットベッドから正しくクロップされない　写真の後に対照的な背景を置いて、再スキャンします。
スキャン後の写真にローラの跡が付いている。	ローラを清掃してください。手順については、第 5 章「**メンテナンス**」を参照してください。
カラー写真に線が入る。	• スキャナーが汚れているので清掃する必要があります。第 5 章「*メンテナンス*」の「清掃手順」を参照してください。 •［画像のスキャン］画面の **［画像修整ツール］**オプションを選択して、縦縞を最小限にします。 • 静電防止ブラシでイメージングガイド部を清掃します。  • また、第6章の「スキャナーの清掃」で「簡単な清掃」の手順を参照してください。
スキャナーの動作が遅すぎる。	• PC がスキャナーの最低要件を満たしていない場合があります。 • スキャナーは USB 2.0 で動作するように規格され、設計されていますが、USB 1.1 ポートでは機能しません。USB 1.1 接続を使用している場合、USB 2.0 にアップデートしてください。 • 600 dpi、1200 dpi、または TIFF 形式で写真をスキャンすると、スキャン速度が低下します。
Microsoft Windows Vista でスタンバイまたは休止後、スキャンできない。	• Service Pack 2 にアップグレードしてください。 • このスキャナーの PC 上の USB 電源管理設定を無効にします。

インストールに関する問題

- デフォルトの設定でインストールした場合、スキャンした画像は **C:￥Scanned_Pictures** に保存されます。これらの画像はさまざまな用途に使用できます（写真管理システムへのアップロード、CD/DVD への書き込み、印刷、電子メール送信など）。
- ピクチャセーバ スキャンシステムでは Microsoft .NET Framework 2.0 を使用します。.NET Framework 4.0 が PC にインストールされていない場合は、このシステムのインストール時に同時にインストールされます。
- コンピュータにセキュリティソフトウェアがインストールされている場合、ピクチャセーバ スキャンシステムのインストールを許可するかどうか尋ねられることがあります。**［許可する］**または**［はい］**を選択してください。間違って**［許可しない］**または**［いいえ］**を選択してしまった場合、セキュリティソフトウェアを開き、パーミッションを *［許可する］* に設定して、ピクチャセーバ スキャンシステムのインストールを許可してください。
- ピクチャセーバ スキャンシステムのインストールを開始する前に、現在実行中のスキャナーアプリケーションまたはUSBソフトウェアドングルを使用するアプリケーションを閉じ、接続しているスキャナーの電源を切ります。
- USB ソフトウェアドングルはコンピュータの USB 2.0 ポートに直接差し込みます。USB ハブ経由でコンピュータの USB ポートに差し込まないでください。USB 2.0 のハブを USB 1.1 のポートに差し込むと、WIBU ソフトウェア（USB ソフトウェア ドングルのドライバ ソフトウェア）の自動ロードが行われない場合があります（次の問題もお読みください）。
- アプリケーションとUSBソフトウェアドングルのプラグインのインストール後に WIBU ソフトウェアの自動ロードが行われない場合、WIBU のインストールディスクを要求するメッセージが表示されることがあります。ソフトウェアディスクを持っていると回答し、ピクチャセーバ スキャンシステムのインストール CD が挿入されている CD ドライブを選択します。これで、WIBU ソフトウェアのインストールが完了します。
- 製品登録にはインターネット接続が必要です。次のインターネットアドレスがブロックされていないことを確認してください。
  https://www.onlineregister.com.

  登録に失敗した場合、インターネットへの接続を確認して再試行してください。製品登録は 5 回まで試行できます。5回以上登録する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。

アプリケーションに関する問題

- 3 GB 未満のメモリを搭載したコンピュータで高解像度（600 dpi または 1200 dpi）スキャン中に、スキャナーで **E9 紙詰まり**が発生する場合は、高解像度スキャンに必要な 3 GB 以上のメモリを増設する必要があります。

他のアプリケーションと競合してしまいます

ハードディスク内の新しい画像ファイルを監視するイメージビューアやバックアッププログラムは、ピクチャセーバ スキャンシステムで使用中でも出力ファイル内の画像ファイルにアクセスする場合があります。これは特定の機能（**コダック** Perfect Touch、回転、自動回転）が正しく動作しない原因となります。フォトスキャンや製品をアンインストールする場合は、他の画像アプリケーションのためにフォルダ監視機能とバックアップ同期機能を無効にします。HP TouchSmart Cyberlink Media Library Service（CLMLSvc.exe）、Western Digital SmartWare、Memeo Syncバックアップソフトウェアでこれらの問題が報告されています。

アプリケーションの設定

ピクチャセーバ スキャンシステムの設定は、特定の Windows OS ごとに指定されたディレクトリ（以下参照）にある PrintScan.ini ファイルを編集して設定することもできます。出力 JPG ファイルの出力場所 (Target_Path) を変更したり、CD、**コダック**ピクチャ CD または DVD 書き込み用のフォルダサイズを調節できます。フォルダの最大サイズは、PrintScan.ini ファイル内の CDFolderSize、PCDFolderSize および DVDFolderSize にパラメータを指定することで変更できます。

A3 およびリーガルサイズ対応フラットベッドスキャナーの回転は、FlatbedRotation パラメータを使用して設定します。

写真の表スキャンの順序を逆にする機能は、ReverseFaceUp パラメータを使用して有効 / 無効にできます。

［スキャンビューア］は、ShowViewer パラメータを使用して有効／無効にできます。［スキャンビューア］のリフレッシュレートは、ViewerDelay パラメータを使用して変更できます。それによって、各画像が画面に表示される時間が長くなるため、すべての画像が表示されません。

他のパラメータのデフォルト値は最適な値に設定されていたり、スキャン設定画面で設定されているため、基本的には変更する必要はありません。

特定パラメータの変更に関する追加ガイダンスは PrintScan.ini ファイルから行うこともできます。

PrintScan.ini フォルダの場所

Windows XP :
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\kds_kodak\Picture Saver System PS50

Windows Vista、Windows 7、および Windows 8 :
C:\ProgramData\kds_kodak\Picture Saver System PS50

注 : このフォルダは隠しフォルダの場合があります。その場合、Windows OS からフォルダを表示する様に設定します。

CD/DVD 作成

Windows Professional および Ultimate バージョンでは管理者が CD/DVD を作成するための限定されたユーザー権限を付与します。

Window で適切なグループ権限パネルにアクセスするには：

1. **［スタート］**をクリックします。
2. Windows XP では**［ファイル名を指定して実行］**をクリックします。
3. ダイアログボックスに **gpedit.msc** と入力します。
4. **［OK］**をクリックします。
5. グループポリシーインターフェイスで、**［コンピュータの構成］**、**［Windows の設定］**、**［セキュリティの設定］**、**［ローカルポリシー］**の順に展開し、**［セキュリティオプション］**をダブルクリックします。
6. **［デバイス：CD-ROM へのアクセスをローカル ログオン ユーザーだけに制限する］**を**［有効］**に設定します。
7. **［デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する］**を**［Administrator と Power User］**または**［Administrator と Interactive Users］**のいずれかに設定します。

データの削除

オペレータは**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステムを使用して、顧客の注文とファイルのバックアップ作成またはハードディスクからの削除を必要に応じて実行します。［管理者システム設定］画面または Windows エクスプローラの削除オプションを使用してファイルを削除し、ごみ箱を空にして Windows の標準的なファイル削除を実行しても、ファイルは PC から完全に削除されません。ファイルシュレッダーまたはファイルイレーサーを使用してファイルとフォルダを完全に削除し、ハードドライブからの復元または復旧を防止します。

エラーコード

コダック ピクチャセーバ スキャンシステムの使用中に発生する問題の解決方法については、以下の表で確認してください。

エラーコード	メッセージ	説明
	Access to destination folder XXXX could not be set exiting the application.（対象フォルダ、XXXX へのアクセスを設定できませんでした。アプリケーションを終了します。）	PrintScan.ini ファイルにスキャンした写真用の有効な Target_Path があることを確認してください。
	［CD/DVD 作成］および［ピクチャ CD 作成］ボタンが無効です。	管理者が実行するか、管理者が CD/DVD 作成の権限をユーザーに付与します。第 7 章「*アプリケーションの設定*」を参照してください。
10、11、12、23	スキャナーと通信できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合は、サービスセンターに連絡してエラーコード XX を報告してください。	ピクチャセーバ システムスキャナーが接続され、電源が入っていて、緑の LED が点灯していることを確認してください。エラーが継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
105、106、107、108、109	フラットベッドスキャナーと通信できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 10X を報告してください。	フラットベッドがバッチスキャナーに正しく接続されていることを確認してください。エラーが継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
110、111、112、113、114	画像修整ツールに障害が発生しました。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 11X を報告してください。	テクニカル サポートにご連絡ください。
186	システム設定エラー。コダックのサービスセンターまでお問い合わせください。終了します	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
200	エラーコード : 200。フォルダ名が不正です。	**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステム PS50 は、サブフォルダを含んでいるため、**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステム PS80 を使用して作成された注文を開くことができません。
1001	エラーコード : 1001 インストールエラー。画像処理のデフォルト設定を読み取れませんでした。PrintScan.ini を確認してください。終了します ...	有効な PrintScan.ini が存在することを確認してください。*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
1002	エラーコード: 1002 scanner profile から画像処理のデフォルト設定を読み取れませんでした。デフォルト設定で続行中です …	有効な scanner profile ファイルが存在することを確認してください。**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第2章「*設置方法*」を参照してください。
1003	エラーコード : 1003 スキャナードライバのバージョンに誤りがあります。詳細については、第 7 章の「**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステムのユーザーズガイド」を参照してください。	ピクチャセーバ スキャンシステム ソフトウェアでは、インストール済みのスキャナードライバはサポートされません。ピクチャセーバ スキャンシステムに対して他のドライバをインストールしないでください。スキャナードライバを再インストールする場合は、スキャナーの電源を切ってすべてのスキャナードライバをアンインストールしてから、*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステム ソフトウェア CD を再インストールします。PC を再起動後、ピクチャセーバ スキャン システム スキャナーの電源を入れます。それによって、スキャナードライバの正しいバージョンがインストールされます。
1004	エラーコード : 1004。製品登録が正しく行われませんでした。詳細については、第 7 章「*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムのユーザーズガイド」を参照してください。	インターネットに正しく接続していることを確認してください。製品登録を再試行します。問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
1005	エラーコード : 1005。PrintScan.ini ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。	有効な PrintScan.ini が存在することを確認してください。*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。この章の「アプリケーションの設定」を参照してください。

1006	エラーコード : 1006。プリンタ エラーが発生しました。	プリンタが正常にインストールされ、接続されていることを確認してください。
1007	エラーコード : 1007。フォトセレクタの登録が正常に完了しませんでした。詳細については、第 7 章「**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステムのユーザーガイド」を参照してください。	インターネットに正しく接続していることを確認してください。フォトセレクタアクセサリの登録を再試行してください。問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
1120	画像修整ツールに障害が発生しました。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード XXXX を報告してください。	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
251085 : PS50	スタートエラー。*コダック* ピクチャセーバ スキャン システムのコピー保護エラー。ライセンスが見つかりません。	提供されている USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。
4000	CD/DVD 作成がサポートされていません。	• **管理者**が実行するか、管理者が CD/DVD 作成の権限をユーザーに付与します。第 7 章「*アプリケーションの設定*」を参照してください。 • CD/DVD ライタが PC にインストールされているか確認します。
4001	Windows Feature Pack for Storage をインストールしてください。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
4002	デリゲート機能にエラーが発生しました。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
4003	レコーダーがサポートされていません。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムでサポートされていない CD/DVD ライタもあります。外付けの USB CD/DVD ライタなど、他のライタをご使用ください。Windows XP をご使用の場合は、Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 にアップデートするか、CD/DVD ライタに同梱のソフトウェアアプリケーションを使用して CD/DVD 作成を行ってください。
4004	サポートされたレコーダータイプの取得中にエラーが発生しました。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムでサポートされていない CD/DVD ライタもあります。外付けの USB CD/DVD ライタなど、他のライタをご使用ください。Windows XP をご使用の場合は、Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 にアップデートするか、CD/DVD ライタに同梱のソフトウェアアプリケーションを使用して CD/DVD 作成を行ってください。
4005	書き込み失敗。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムでサポートされていない CD/DVD ライタもあります。外付けの USB CD/DVD ライタなど、他のライタをご使用ください。Windows XP をご使用の場合は、Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 にアップデートするか、CD/DVD ライタに同梱のソフトウェアアプリケーションを使用して CD/DVD 作成を行ってください。
4006	メディア検出エラー。	CD/DVD ライタに適切なメディアが挿入され、ライタの準備が完了し、メディアが書き込み可能で、クローズまたはファイナライズされていないか確認してください。
4007	ディスク容量が足りないため、ファイル / フォルダを保存できません。	CD/DVD ライタに適切なメディアが挿入され、ライタの準備が完了し、メディアが書き込み可能で、クローズまたはファイナライズされていないか確認してください。
4008	ファイル作成でシステムエラー発生。	CD/DVD メディアに選択されたファイルやフォルダが収まるか確認します。

4009	ファイル追加中にエラー発生。	CD/DVD メディアに同じ名前のファイルがすでに存在していないか、メディアに充分な容量があるか確認します。
4010	フォルダ追加中にエラー発生。	CD/DVD メディアに同じ名前のファイルがすでに存在していないか、メディアに充分な容量があるか確認します。
4011	メディア消去に失敗しました。	CD/DVD ライタに適切なメディアが挿入され、ライタの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
4012	CD/DVD 作成中にエラーが発生しました！	CD/DVD ライタに適切なメディアが挿入され、ライタの準備が完了し、メディアが書き込み可能で、クローズまたはファイナライズされていないか確認してください。
4013	ディスクのフォーマットに失敗しました！	CD/DVD ライタに適切なメディアが挿入され、ライタの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
5001	対応できない例外。	テクニカル サポートにご連絡ください。
5002	引数エラー。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムとフォトセレクタアクセサリを再インストールします。問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5003	画像を分割できません。	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5004	ディレクトリを作成できません。	ファイル保存に充分な空きディスク容量があることを確認します。問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5005	画像をエクスポートできません。	ファイル保存に充分な空きディスク容量があることを確認します。問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5006	ファイルを保存できません。	ファイル保存に充分な空きディスク容量があることを確認します。問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5007	ビットマップのサイズを変更できません。	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5008	画像サイズを変更できません。	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5009	画像ファイルを開けません。	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
5010	画像リストを構築できません。	問題が継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
6017	正しい USB ライセンスドングルが、PC の USB ポートに挿入されているか確認してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 6017 を報告してください。	提供されている USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。
6XXX	正しい USB ライセンスドングルがコンピュータの USB ポートに挿入されているかどうか、確認してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 6XXX を報告してください。	提供されている USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。
7000	WIBUのランタイムがインストールされているかどうか確認してください。WIBU ランタイム (WkRuntime.exe) はコダックスキャナーに同梱されている CD に格納されています。	テクニカル サポートにご連絡ください。

エラーコード	メッセージ	説明
7001	ライセンスの.datファイルが見つかりません。サービスセンターに連絡してエラーコード 7001 を報告してください。	テクニカル サポートにご連絡ください。
8001	プロファイルエラー。スキャナーのデフォルトのプロファイル設定が変更されていないかどうか確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 8001 を報告してください。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
8002	スキャナー名が見つかりません。スキャナーのデフォルトのプロファイル設定が変更されていないかどうか確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 8002 を報告してください。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
9001、9002、9003	TWAIN ドライバを起動できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 900X を報告してください。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章の「コダックドライバソフトウェアのインストール」を参照してください。
9004	コダックのスキャナーが見つかりませんでした。	ピクチャセーバ システムスキャナーが接続され、電源が入っていて、緑の LED が点灯していることを確認してください。エラーが継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
9005	コダック ピクチャセーバ システムで使用できるスキャナーがあることを確認してください。	コダック ピクチャセーバ システムでスキャナーが使用できることを確認してください。エラーが継続する場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。
9006、9007、9008、9010	スキャナーに接続できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 900X を報告してください。	*コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
9009	スキャナーから画像を取得できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 9009 を報告してください。	テクニカル サポートにご連絡ください。
9011	スキャナーを実行できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード9011を報告してください。	**コダック** ピクチャセーバ スキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章「*設置方法*」を参照してください。
9XXX	スキャナーに接続できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し発生する場合、サービスセンターに連絡してエラーコード XXXX を報告してください。	提供されている USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。

LED コード

以下は、ファンクションウィンドウに表示されるコードの一覧です。エラーが発生すると、赤のインジケータが点滅し、ファンクションウィンドウに数字が表示されます。

コード	メッセージ	解決法
0	USB ケーブルを確認します	USB 接続されていないか、USB ケーブルがしっかりと接続されていません。
	省電力モード	対処の必要はありません。
	スキャン中	原稿をスキャン中です。
U5、E3	原稿を再スキャンします	スキャン中にスキャナーの USB ケーブルがはずれました。
U6	用紙の搬送路を掃除しカバーを閉じます	スキャナーのカバーを開き、すべての原稿が搬送路から取り除かれていることを確認します。その後、スキャナーカバーを閉めます。
U8	マルチフィード	• 原稿の重送が検出されました。重送した原稿を取り除きます。 • スキャンする原稿が長すぎます。
U9	紙詰まり	紙詰まりまたは搬送路がブロックされています。原稿を搬送路から取り除きます。
E1、E2	❗	• ケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。 • 電源を落としてから再度入れなおしてください。問題が解決しない場合は、サービスセンターに連絡してください。
E2、E4、E7		• 電源を落としてから再度入れなおしてください。問題が解決しない場合は、サービスセンターに連絡してください。

ログファイル

コダック ピクチャセーバ スキャンシステム PS50 は、スキャン出力フォルダ (c:￥Scanned_Pictures) にエラーログファイルを生成します。

- **エラーログ** - PS50ErrorLog.txt にはすべてのエラー状態に関する最新リストが含まれており、システムの問題を診断するのに使用できます。

連絡先の情報

1. 国内のお問い合わせは、0120-085580 までお願い致します。
2. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
   - 障害の内容
   - スキャナーのシリアル番号
   - コンピュータの構成
   - 使用しているアプリケーションソフトウェア

付録A　仕様

ここでは、スキャナーの仕様とシステム要件について説明します。

スキャナーモデル／処理速度	コダック PS50 スキャナーは 4 x 6 サイズのカラー写真を、横向き、300 dpi で 1 分間に最大 50 枚スキャン可能な両面スキャナー。
スキャンテクノロジー	CCD の種類 グレースケール出力階調 8 bit カラー読み取り階調 48 bit (16 x 3) カラー出力階調 24 bit (8 x 3)
出力解像度	300 dpi、600 dpi、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	シングルページ JPEG フォトスキャン
写真の最小サイズ	63.5 x 50 mm
写真の最大サイズ	**スキャナー** - 215 x 863 mm **リーガルフラットベッド** - 216 x 356 mm **A3 フラットベッド** - 302 x 461 mm
写真の重量	34 g/m^2 ～ 413 g/m^2
フィーダ積載枚数	フィーダ積載枚数：25 枚。サイズ混在時：1 バッチ最大 75 枚 写真の連続フィードをサポート 重量 34 ～ 413 g/m²、ID カードの厚さ：1.25 mm 以下
一日の推奨処理枚数	1,500 枚（写真）
光源	デュアル LED
電源要件	AC 100 ～ 240 V（海外対応）、50/60 Hz
電源規格	24 Vdc、1.875 A
外形寸法	**縦**：246 mm （入力トレイを除く） **横**：330 mm **奥行き**：162 mm （入力トレイと出力トレイを除く）
重量	5.5 kg
インターフェース	USB 2.0
使用環境温度	10°C ～ 35°C
湿度	15 ～ 76%
消費電力 - スキャナー	オフモード：0.5 W 未満 待機時：8 W 未満 Energy Star：2.5 W 未満 稼動時：35 W 未満
騒音レベル （音圧レベル）	動作時：58 dB (A) 未満 オフモード：30 dB (A) 未満
同梱ソフトウェア	コダック ピクチャセーバ システム ソフトウェア スマートタッチ機能

システム要件

コダック ピクチャセーバ スキャンシステムの最低システム構成は次のとおりです。

- Intel Core 2、2 GHz デュオプロセッサ以上、ハードディスク空き容量 250 MB、メモリ 1 GB 以上（300 dpi の場合。Windows 7 または Windows 8 は 3 GB 以上）、メモリ 4 GB 以上（600 および 1200 dpi の場合。Windows 7 または Windows 8 は 4 GB 以上）
- USB 2.0 ポート 2 個
  （スキャナー用に 1 個、USB ソフトウェアドングル用に 1 個）

  注：*コダック*フォトセレクタアクセサリを取り付ける場合は、さらに USB 2.0 ポートが 2 個必要です。

- 対応 OS（各オペレーティングシステムで、USB 2.0 をサポート。インストール時に管理者権限が必要）
  - Microsoft Windows XP、Service Pack 3
  - Windows XP 64、Service Pack 2
  - Windows Vista、Service Pack 2
  - Windows Vista (64 bit)、Service Pack 2
  - Windows 7 (32 bit)、Service Pack 1
  - Windows 7 (64 bit)、Service Pack 1
  - Windows 8
- *コダック* ピクチャセーバ スキャンシステムは仮想マシンやデュアルブートによる Windows OS の稼動を含め、非ネイティブな Windows PC は公式にはサポートしていません。この環境下での稼動ではテクニカルサポートは限定され、また、保証は提供されません。
- Microsoft .NET Framework 2.0 および 4.0（インストール CD に収録）。
- インターネット接続（製品登録用）。

注：スキャン後の画像の取り扱いによって、CD/DVD ライタやフォトプリンタなどの周辺機器が必要になります。

付録 B　保証 - 米国、カナダ限定

*コダック*スキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。*コダック*のスキャナーは、最高のパフォーマンスと信頼性をお届けするように作られています。すべての***コダック***のスキャナーには、次の限定保証が適用されます。

*コダック*スキャナーの限定保証

Kodak Alaris Inc. (“Alaris”) Alaris または Alaris 認定代理店から販売された、*コダック*スキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

Kodak Alaris Inc. は、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、*コダック*スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の*コダック*スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての*コダック*スキャナーには、以下に示す保証の除外に関する条項が適用されます。*コダック*スキャナーに欠陥が発見された場合、または製品仕様に準拠しないことがわかった場合は、Kodak Alaris' の判断によって、修理を行うか、新しい製品、または工場整備された製品との交換を行います。

購入者は、電話 (800-822-1414) または当社の Web サイト (www.kodakalaris.com/go/warranty) で、購入した*コダック*スキャナーに適用される限定保証期間を確認できます。また、この保証期間は*コダック*スキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードにも記載されています。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

Alaris の限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に*コダック*スキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) Alaris にスキャナーを送り返す際に、その時点で最新の Alaris の梱包と輸送のガイドラインにしたがってスキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b)ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクター、カバー、ガラス、ピン、トレイおよびシールの破損を含む）。(c) Alaris またはコダックの正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、Alaris 製品の模造コンポーネントや Kodak Alaris 社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者のミス、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に逆らった、Alaris の承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリに使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼動環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電 (ESD) 保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウエアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.kodakalaris.com/go/warranty)。

Alaris は、米国やカナダ以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

Alaris では、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

ALARIS では、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらの ALARIS が保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、また、これに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

コダックスキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読めば、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られるはずです。ただし、ユーザーズガイドを参照しても不明の場合は、当社の Web サイト (www.kodakalaris.com/go/disupport) を参照するか、

コダックのサポートセンター（**電話：800-822-1414**）に問い合わせてください。

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日までの、現地時間の午前８時から 午後５時まで 営業しています。

サポートセンターにお電話いただく場合には、*コダック*スキャナーの型番、パーツ番号、シリアルナンバー、購入を証明できるものを事前に用意してください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題の原因が*コダック*スキャナーと別のコンポーネントのいずれにあるのか、問題を電話で解決できるかを、サポートセンターで判断するためのものです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、*コダック*スキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。Alaris では、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は*コダック*スキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。誤って送付された場合にも、Alaris は、それらのアイテムに関しては何らの保証をするものではなく、*コダック*スキャナーの修理後の返送や、交換品の送付の際に返却することはありません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、Alaris に返送してください。*コダック*スキャナーの梱包、発送の際には、緩衝材を使用してください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris' のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となる*コダック*スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak Alaris' の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*コダック*スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

Alaris が交換した製品や部品は、Alaris の所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。ALARIS では、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

Alaris は限定保証をサポートし、*コダック*スキャナーの使用および取り扱いを支援する（サービス方法）、様々なサービスプログラムを提供しています。*コダック*スキャナーはビジネス上の重要な役割を担う装備です。*コダック*スキャナーは競争力の維持に不可欠な生産性を提供します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、Alaris では限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

お買い求めいただいた*コダック*スキャナーには、限定保証の概要カードが同梱されています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定の*コダック*スキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、オンライン (www.kodakalaris.com/go/disupport)。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが同梱されていない場合は、オンライン (www.kodakalaris.com/go/disupport)。

Alaris はまた、*コダック*スキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

Alaris では、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

出張サービス

選択したコダックスキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の48州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナーにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、Alaris の技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社のWebサイト(www.kodakalaris.com/go/docimaging) を参照してください 出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの、現地時間の午前8時から 午後5時の間 に実施しています。

AUR（アドバンスユニット交換）

AURは、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定のコダックスキャナーの該当する購入者に対し、コダックは2営業日以内に製品を交換します。

AURでは特定の障害または破損のあるコダックスキャナーについて、事前に交換を行います。AURを利用するには、対象となる購入者はRMA番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、コダックが署名された合意書を受け取ってから2営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザーが交換用製品を受け取ってから10日以内にコダックに届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザーのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、コダックが送料を負担し、輸送手段を選択します。コダックの指示や、コダックが希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品をコダックに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization)番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

Kodak スキャナーがAUR（アドバンスユニット交換）またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はディーポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄りの正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、Alaris に返送してください。コダックスキャナーには、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris' のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。コダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMAの発行から10営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担でRMAが指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を10営業日以内に修理します。修理された製品は、2日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

適用対象資格：アドバンス交換プログラムとディーポサービスは、米国の50の州において、限定保証対象の購入者に対して提供されています。また出張サービスは、米国大陸の48の州と、アラスカとハワイの一部の地域で提供されています。いずれも対象となるのは、Alaris の正規販売店から購入した製品になります。コダックスキャナーが、その時点で最新の保証の除外事由に該当する場合は、保証によるサービスの対象とはなりません。これには、購入者が欠陥のある製品を Kodak Alaris' に返送する際に、Alaris の最新の「梱包と輸送のガイドライン」に従わなかった場合も含まれます。購入者は、コダックスキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品：消耗品とは、通常の使用で磨耗し、必要に応じてユーザーが置き換えなければならないアイテムです。消耗品や備品など、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

Alaris が交換した製品や部品は、Alaris の所有となります。

Kodak Alaris Inc. の連絡先

コダックスキャナーの連絡先：

Webサイト：www.kodakalaris.com/go/docimaging

米国内の 電話によるサービス、修理、技術サポート：

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日までの、現地時間の午前8時から 午後5時まで 営業しています。
電話番号：(800) 822-1414

技術文書と FAQ（24 時間）：

Webサイト：www.kodakalaris.com/go/docimaging

サービスプログラム情報：

Webサイト：www.kodakalaris.com
電話番号：(800) 822-1414

付録 C ソフトウェアライセンス契約

KODAK ALARIS INC. ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約

このソフトウェアを使用する前に、以下の条件をよくお読みください。このソフトウェアを使用すると、以下の条件を承諾したことになります。以下の条件を承諾しない場合は、すぐにパッケージを返品して全額返金を受けてください。

ライセンス

ライセンスの許諾。Kodak Alaris Inc. （以降「Alaris」）は、本契約条件に従い、同封のソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」）の使用を許諾します。

使用の制限。このソフトウェアは、同時に 1 台のコンピュータのみ使用できます。ソフトウェアが同時に動作するコンピュータの追加毎に、ソフトウェアの追加ライセンスが必要となります。上記の様にソフトウェアを使用する場合、ソフトウェアをコピーすることができます。

ライセンスの譲渡。第三者がこのライセンスの契約条件を承諾すれば永久的にソフトウェアを移譲できますが、ソフトウェアのコピーは保持できません。

診断ソフトウェア：装置の保守（性能の不具合診断を含む）に使用するソフトウェア（「診断ソフトウェア」）は、組み込み、同梱、パッケージ、または個別提供される場合があります。診断ソフトウェアおよびその実装方法は、Alaris **の貴重な機密である知的財産を構成します。診断ソフトウェアを所有することにより、**ここに記載された例外を除き、診断ソフトウェアを所有または使用する権利が付与されないことに同意するものとします。Alaris により別途許可されない限り、いかなる目的においても、診断ソフトウェアを使用、複製、配布または開示しないものとし、他のいかなる者に対しても対価の有無にかかわらずこれを許可しないものとします。上記にかかわらず、Alaris からの文書による明示的許諾権には、かかる診断ソフトウェアが意図した特定の「Alaris」装置においてのみ独占的に診断ソフトウェアを使用する権利が含まれる場合があります。診断ソフトウェアの不正な使用、複製または配布を防ぐために、Alaris が本契約に記載の保証期間終了後を含みいつでも、直接または遠隔でお客様の装置にアクセスできることに同意するものとします。

著作権。本ソフトウェアは Alaris またはそのサプライヤーの所有物であり、著作権法および国際条約で保護されています。本ライセンスに明記されていないソフトウェアをコピーすることはできません。本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルはできません。EU 地域でこのソフトウェアを使用する場合は、この契約は EC ソフトウェア指令 (91/250/EEC) の権利を制限するものではありません。

契約期間。本ライセンスは、契約を終了するまで有効となります。ソフトウェア、およびフォーマットにかかわらず全てのコピーを破棄することで、いつでも契約を終了させることができます。また、ユーザが本契約の条項に従わない場合、本契約は終了するものとします。その場合、ソフトウェア、およびフォーマットにかかわらず全てのコピーを直ちに破棄するものとします。

保証制限

当該保証によってユーザには特定の法的権利が付与されますが、その他の権利が付与される場合もあります。ソフトウェアの納品後 90 日以内に購入したレシートを提示すれば、Alaris は（i）ソフトウェアがマニュアルの説明どおりに動作し、(ii) ソフトウェアを収録したメディアに通常の使用における欠陥や製造上の不良がないことを保証します。Alaris は、ソフトウェアに含まれる機能がユーザの要件を満たし、ソフトウェアの動作が中断されたりエラーがないことを保証しません。ユーザは、意図した結果を得るためのソフトウェアの操作と、ソフトウェアのインストール、使用、結果の責任を負うものとします。

以下の例外を禁止する法律に従い、Alaris は明示的もしくは暗示的に関わらず一切の保証を行わず、商品性および特定目的への適合性の保証もおこないません。一部の州やオーストラリアなどの国には、暗示的な保証の例外を認めないか、除外されない法定の保証を課す立法措置があるため、上記の例外は適用されません。

賠償の制限

以下の制限を禁止する法律により、Alaris の責任とユーザの賠償は、Alaris の選択により、(a) Alaris の「保証の制限」を満たさずにレシートとともにソフトウェアを Alaris に返品、またはメディアの修理交換、(b) 購入の証拠がある場合にソフトウェアの対価の返金のいずれかになります。これらの賠償は、ソフトウェアやメディアの欠陥が誤使用、濫用、マニュアルの操作説明に従わなかった場合には適用されません。

適用法

本ソフトウェアを米国で購入された場合、この契約はニューヨーク州の法律に準拠します。合衆国以外の地域で購入した場合は、契約は購入した国の法律によって規定されます。

米国政府による制限付権利

ソフトウェアとマニュアルは制限付権利 (Restricted Rights) と共に提供されます。米国政府による使用、コピー、または開示は、DFAR 252.227-7013 の「技術データおよびコンピュータソフトウェアにおける権利条項 (Rights in Technical Data and Computer Software)」の節 (c)(1)(ii) 項、またはその他の政府、当局による保護で定められた制限が適用されます。契約者 / 製造者 Kodak Alaris Inc., 2400 Mount Read Blvd., Rochester, New York, 14615.

Kodak Alaris Inc.
2400 Mount Read Blvd.
Rochester, NY 14615

© 2014 Kodak Alaris Inc.
All rights reserved.
コダックの商標およびトレードドレスはイーストマンコダック社の許可を受けて使用しています。